

消 防 年 報

2018 年版
(平成 30 年)



明石市消防局
2019 年(令和元年)刊行

ひと目でわかる私たちの消防

市 勢

(2019年4月1日現在)

				
面積	人口	人口密度	世帯数	消防予算(千円)
49.42km ²	302,965人	6,130人/km ²	137,802世帯	2,912,129
0.20km ² /職員1人	1,278人/職員1人		581世帯/職員1人	
0.05km ² /団員1人	295人/団員1人		134世帯/団員1人	

組織・施設

			
署 所	消防職員数	消防団	消防水利
消防局 1 消防署 1 分署 6	237人	団員数 1,028人 (8分団、50班) 車両 47台	消火栓 7,567基 防火水槽 558基

消防車両(48台)

					
消防ポンプ車	救助工作車	救急車	はしご車	化学車	その他の車両
10台	2台	9台	2台	2台	23台

予防・防災

		
防火対象物(延面積150㎡以上)	危険物許可施設	防災・防火組織
6,945施設 【内訳】 特定対象物: 1,779施設 非特定対象物: 5,166施設	579施設 【内訳】 製造所: 9施設 貯蔵所: 397施設 取扱所: 173施設	自主防災組織 28組織 137,802人 婦人防火クラブ 12団体 385人

災害発生状況

(2018年中)

					
119番受付件数	出火件数	救急出動件数	救助出動件数	その他の災害出動	風水害出動件数
21,106件	74件	15,820件	355件	1,302件	81件

目次

1	明石市の概要	1
2	一般会計と消防費の比較	1
3	気象状況	2
4	気象情報発表状況	3
5	消防庁舎の配置と管轄	4
6	消防通信系統図	5
7	消防局の組織と事務分掌	6
8	消防署の組織と事務分掌	7
9	職員配置状況	8
10	職員階級別年齢構成	9
11	職員階級別勤続年数	9
12	職員研修状況	10
13	消防車両現有表	11
14	消防水利状況	12
15	火災警戒実施状況	13
16	介護予防教育	13
17	防火対象物状況と査察	14
18	危険物許可施設数の推移	15
19	危険物施設の状況と査察	15
20	予防関係事務処理状況	16
21	消防同意事務処理状況	17
22	防火管理講習会実施状況	18
23	危険物施設に係る申請状況	18
24	防災センター来館状況	19
25	訓練指導等の実施状況	19
26	市民救命士講習及び救急指導実施状況	20

災害統計

1	消防通信	
	(1) 119番通報受付状況.....	21
	(2) 医療案内状況.....	22
2	市内地区別災害出動件数.....	23-27
3	火災出動	
	(1) 火災の状況.....	28
	(2) 出火時間帯別火災の状況.....	29
	(3) 死傷者の状況.....	30
	(4) 初期消火の状況.....	30
	(5) 年別火災発生状況.....	31
	(6) 月別火災件数.....	31
	(7) 出火原因別火災件数.....	32
4	救急出動	
	(1) 事故種別出動件数及び搬送人員.....	33
	(2) 救急出動の推移.....	34
	(3) 傷病程度別事故種別搬送人員.....	35
	(4) 年別傷病程度別搬送人員の推移.....	35
	(5) 年齢区分別事故種別搬送人員.....	36
	(6) 年別年齢区分別搬送人員の割合.....	36
	(7) 月別曜日別事故種別出動件数及び搬送人員.....	37
	(8) 現場到着所要時間別出動件数.....	38
	(9) 病院収容所要時間別搬送人員.....	38
	(10) 救急隊員が行った応急処置件数.....	39
	(11) 急病に係る疾病分類別搬送人員.....	40
5	救助出動	
	(1) 発生場所別救助件数.....	41
	(2) 月別曜日別事故種別出動件数.....	42
	(3) 救助件数の推移.....	43
6	風水害出動.....	44
7	その他の災害出動.....	44

消防団

1	消防団組織機構	45
2	消防団員階級別分団人員	46
3	消防団員階級別年齢構成	46
4	消防団員の表彰等受章状況	47
5	消防団機械器具配備状況	48

付録

明石消防の沿革.....	49-57
--------------	-------

※この年報は、人事・予算関係は会計年度(4月1日から翌年3月31日まで)、災害統計は暦年(1月1日から12月31日まで)とし、その他は必要に応じて当該表の右上又は下に基準日等を表示しています。

(備考)

1. 表構成内容によりゼロ値の表記を「0」又は、空欄としています。
2. 「年中」とあるのは暦年を表しています。
3. 表中の▲は、減少を表しています。
4. 前年度実績が無い場合は、計算外として「-」を記載しています。
5. 端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

1 明石市の概要

明石市は、東経 135 度の日本標準時子午線上にあります。

また、瀬戸内海に面しており、明石海峡をはさんで淡路島を眼前に臨むことができます。気候は温暖で、古くは万葉歌人柿本人麻呂によって多くの歌が詠まれた風光明媚な地です。さらに、阪神都市圏と播磨臨海地域、そして海を隔てて淡路・四国と結ぶ位置にあり、海陸交通のうえで重要な拠点となっています。

市の東と北は神戸市と接し、西は加古川市、稲美町、播磨町と接しています。市の面積は 49.42 km²、周囲は 60.9km です。最長距離は、東西 15.6km（海岸線は 15.9km）、南北で 9.4km あり、東西に細長いまちを形成しています。

明石市では、「ひと まち ゆたかに育つ～未来安心都市・明石」の実現に向け、市民の皆さんと手を携え、取り組みを進めています。



2 一般会計と消防費の比較

区分 年度	人口	世帯数	消防 職員数	一般会計 (千円)	消防費 (千円)	比率	市民一人あた りの消防費 (円)
2017	298,878	133,863	240	101,820,653	2,656,249	2.6%	8,887
2018	301,199	135,993	242	109,350,269	2,952,545	2.7%	9,803
2019	302,965	137,802	237	111,878,891	2,912,129	2.6%	9,612

※表中の金額は、すべて当初予算額に基づく数値から算出したものです。

※人口及び世帯数については、明石市住民基本台帳に基づく数値で、住民票作成対象者の外国人（中長期在留者、特別永住者等）を含みます。

3 気象状況

(2018年中：明石市消防局観測値)

項目		月											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温	最高(°C)	15.0	15.2	21.6	25.6	29.1	31.5	36.8	36.0	32.1	28.6	22.7	22.1
	日	17日	28日	28日	21日	25日	25日 28日	31日	5日 22日	3日	5日	9日	4日
	最低(°C)	-3.5	-3.1	0.0	4.3	8.9	14.2	22.0	18.3	14.6	10.3	3.2	-1.1
	日	27日	9日	11日	8日	10日	2日	5日	18日	28日	26日 31日	24日	30日
平均風向		北西	西北西	北北東	西	西	北北東	南	南南東	北	北	北	西北西
平均風速(m/sec)		2.4	1.9	1.9	1.6	1.4	1.4	1.4	1.6	1.6	1.8	1.5	2.0
平均湿度(%)		77.6	73.7	75.6	75.1	78.0	84.5	82.3	74.7	78.9	68.1	69.0	69.8
降水量(mm)		37.5	37.5	158.0	82.0	182.0	235.5	446.5	82.0	305.5	38.5	5.0	43.0

年間平均気温	年間最高気温	年間最低気温	年間平均風向	年間平均風速	年間降水量
16.4(°C)	36.8(°C)	-3.5(°C)	北	1.7 (m/sec)	1653 (mm)
	7月31日	1月27日			

4 気象情報発表状況

(2018年中)

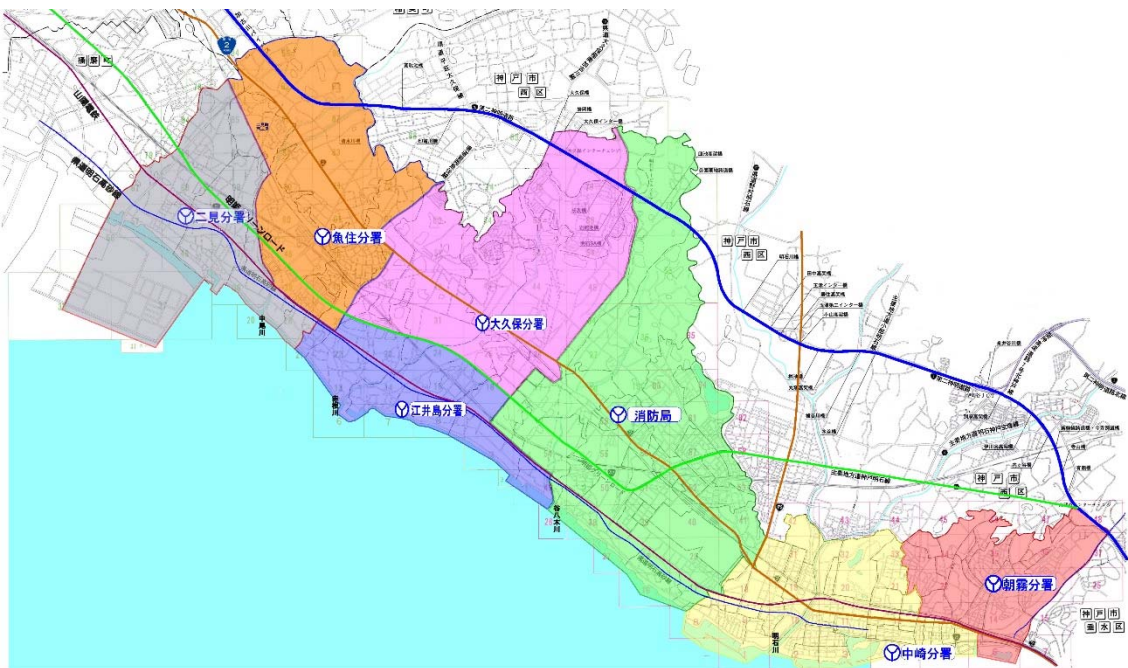
項目		月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
警 報	暴風雪														0
	大雨							1	2	2	4				9
	洪水							1	1	1	2				5
	暴風			1					1	1	2				5
	大雪														0
	波浪			1					1	1	2				5
	高潮									1	1				2
	小計		0	0	2	0	0	2	5	6	11	0	0	0	26
注 意 報	大雨			4	1	4	6	6	5	8	1				35
	大雪														0
	風雪														0
	雷	5	2	7	7	6	7	17	17	8	4	1	1		82
	強風	8	5	11	6	5	4	5	3	5	4	2	9		67
	波浪	8	5	11	6	5	4	5	3	5	4	2	9		67
	洪水			3	1	3	2	3	3	7					22
	高潮						1	2	2	6	1				12
	濃霧		1	1	2	3	3					1	2		13
	乾燥	4	4	8	6	4			1		4	5	1		37
	なだれ														0
	低温	4	2												6
	霜			6											6
	暴風														0
着雪(氷)														0	
小計		29	19	51	29	30	27	38	34	39	18	11	22	347	
火災気象通報		10	7	3	6	3	3	1	3	2	6	2	4		50
大雨に関する情報					2	2	13	15	10	22					64
雨に関する情報						2									2
大雪に関する情報		33	38										8		79
低気圧に関する情報													1		1
強風と強い寒気に関する情報															0
強い冬型の気圧配置に関する情報			2												2
低温に関する情報		3													3
台風情報							1	9	17	21	8				56
地震情報							2								2
津波情報															0
津波警報・注意報															0
その他気象情報		2	14	43	26	33	14	78	82	21	10	8	23		354
小計		48	61	46	34	40	33	103	112	66	24	10	36		613
合計		77	80	99	63	70	62	146	152	116	42	21	58		986

5 消防庁舎の配置と管轄

(2019年4月1日現在)

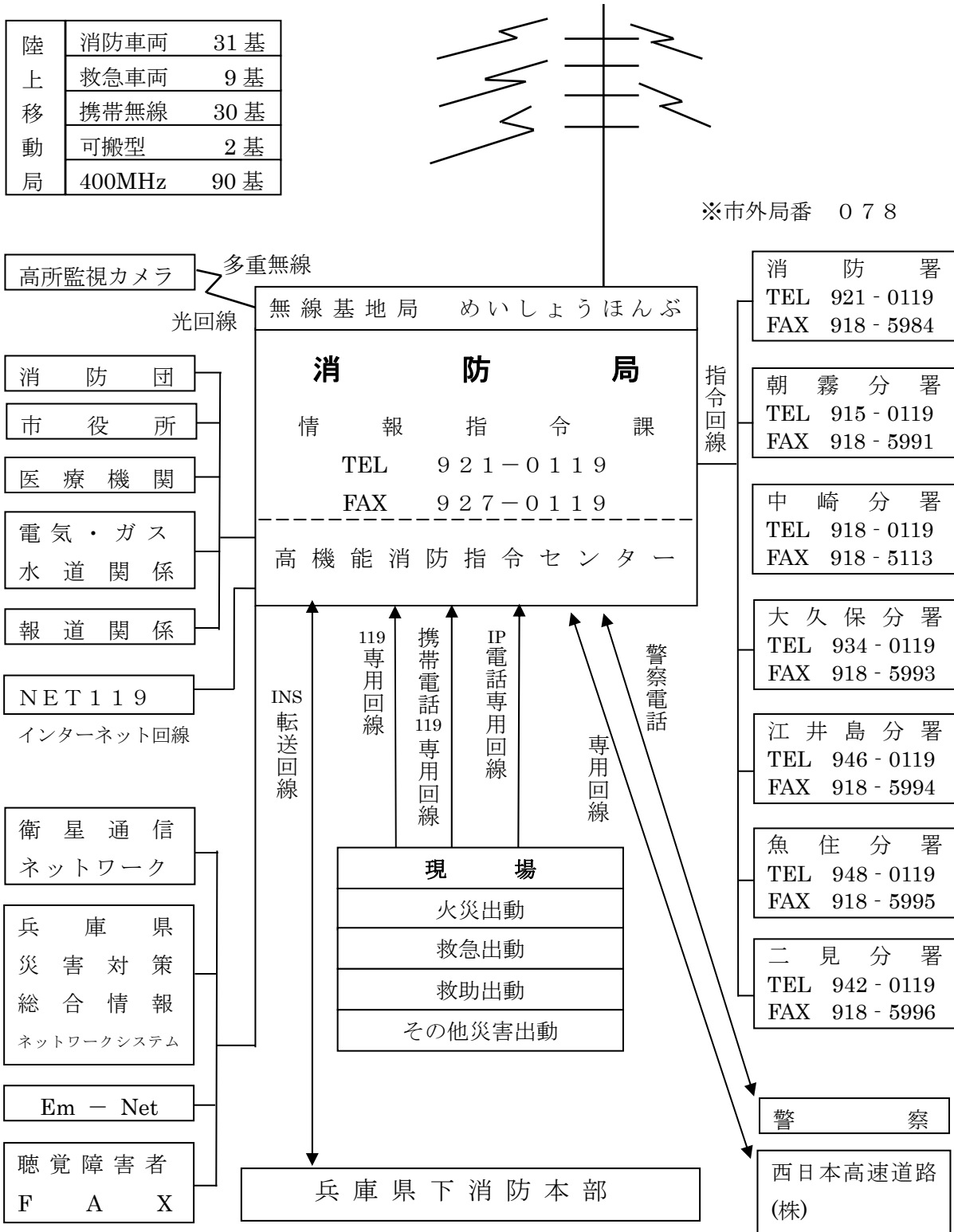
	庁舎名	所在地	建築年月日	構造	敷地面積	延面積
①	朝霧分署	朝霧町 3 丁目 10 番 1 号	昭和 46 年 5 月竣工 平成 10 年増改築	鉄筋コンクリート鉄 骨造 2 階建	623.85 m ²	418.82 m ²
②	中崎分署	中崎 1 丁目 6 番 20 号	昭和 47 年 6 月竣工	鉄筋コンクリート造 4 階建	1, 551.49 m ²	2, 184.95 m ²
③	消防局 消防署 防災センター	藤江 924 番地 の 8	平成 15 年 2 月竣工	鉄筋コンクリート鉄 骨造 4 階建	6, 011.35 m ²	5, 465.72 m ²
④	大久保分署	大久保町西脇 364 番地の 12	昭和 57 年 2 月竣工 平成 23 年 1 月増改築	鉄筋コンクリート鉄 骨造 2 階建	1, 211.48 m ²	604.75 m ²
⑤	江井島分署	大久保町江井 島 794 番地の 8	昭和 60 年 3 月竣工 平成 23 年 3 月増改築	鉄筋コンクリート造 2 階建	714.84 m ²	335.60 m ²
⑥	魚住分署	魚住町西岡 500 番地	昭和 44 年 4 月竣工 平成 12 年 11 月改修	鉄筋コンクリート造 2 階建	460.66 m ²	301.37 m ²
⑦	二見分署	二見町西二見 767 番地の 3	昭和 57 年 12 月竣工 平成 17 年 2 月増改築	鉄筋コンクリート造 2 階建	819.02 m ²	536.77 m ²

「消防庁舎の配置と管轄」



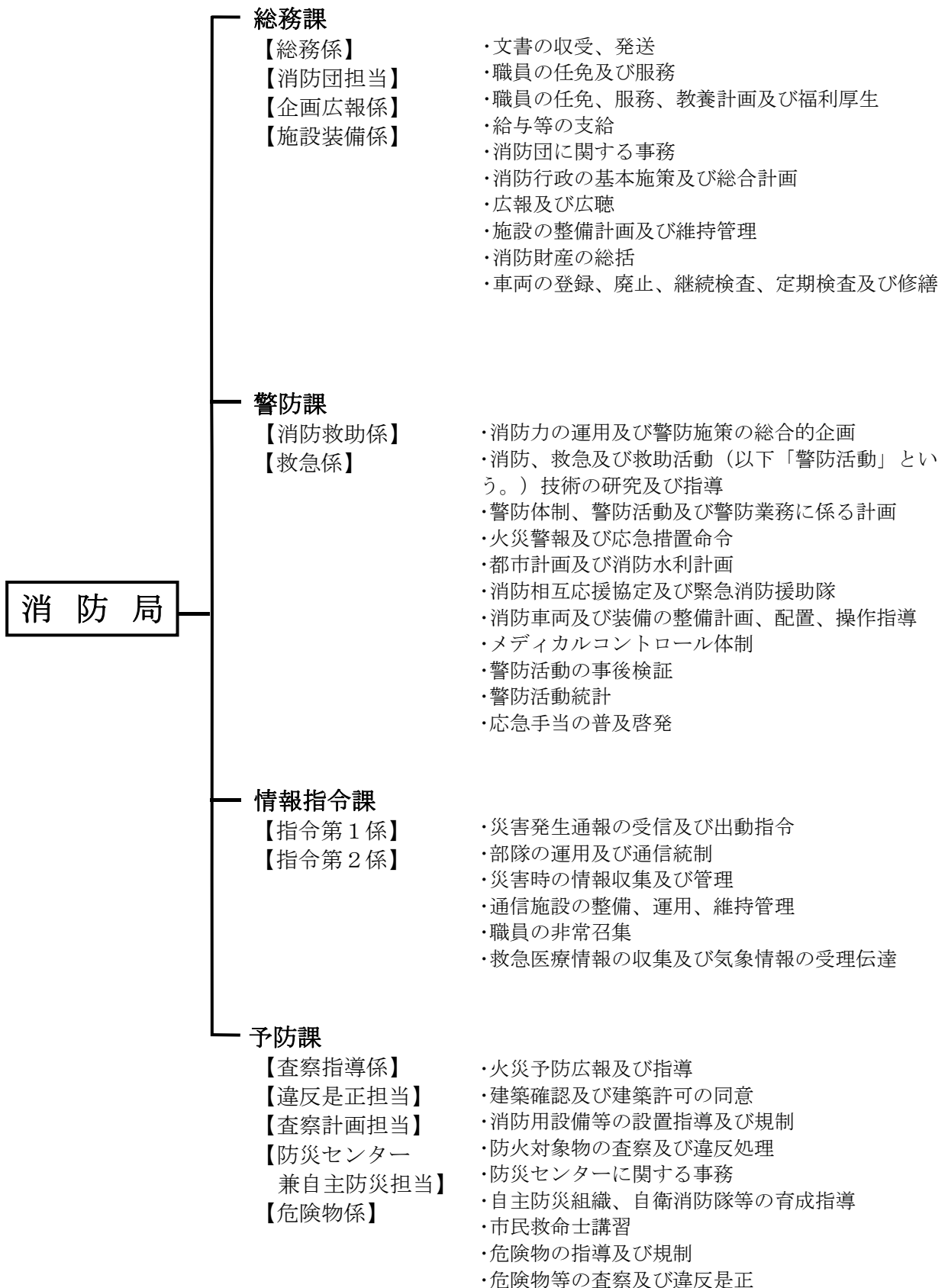
6 消防通信系統図

(2019年4月1日現在)



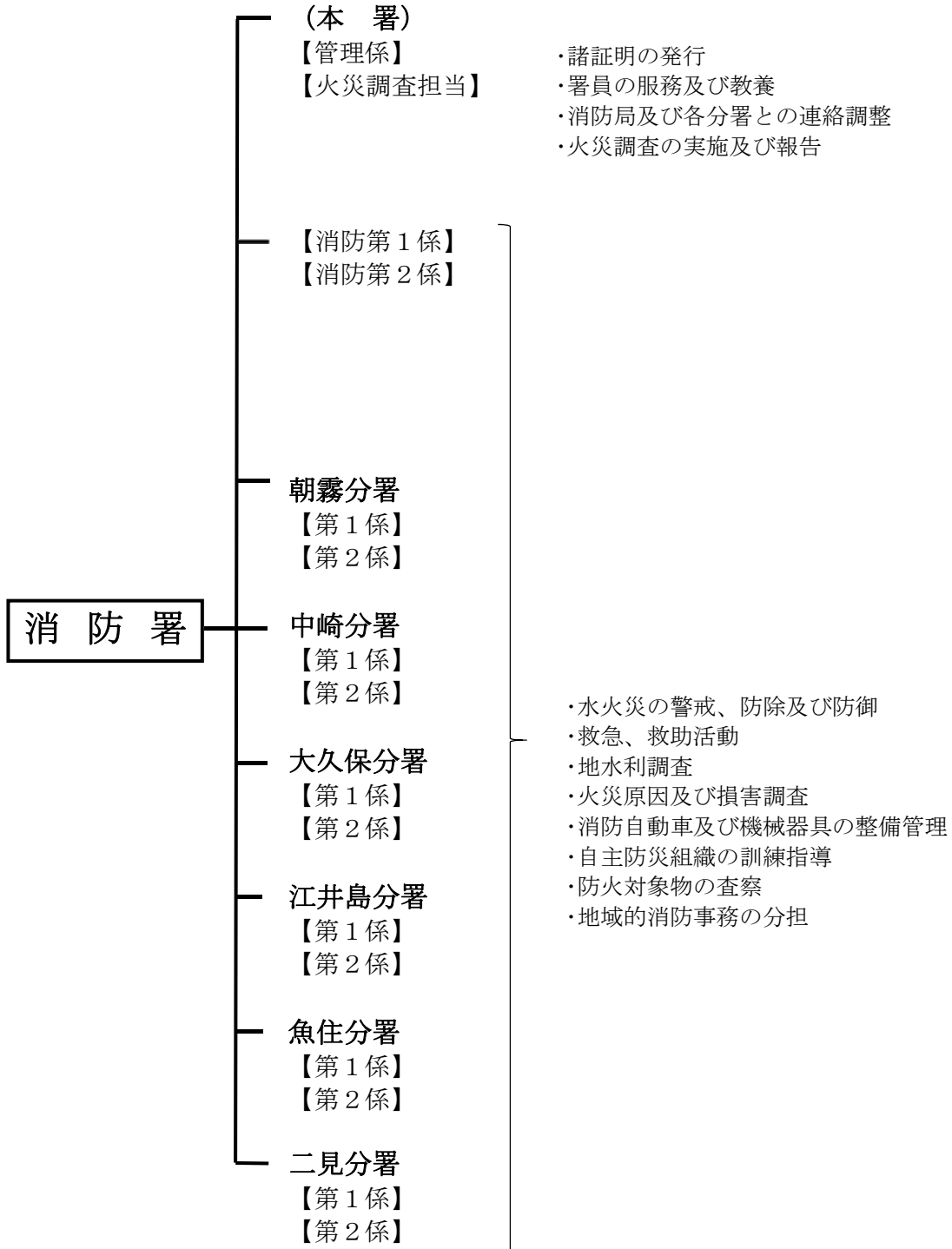
7 消防局の組織と事務分掌

(主な事務分掌)



8 消防署の組織と事務分掌

(主な事務分掌)



9 職員配置状況

(2019年4月1日現在)

階級 所属		実員	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員
総 数		237	1	3	20	49	69	62	8	25	
消 防 局	局 長	1	1								
	次 長	1		1							
	総務課	16		1	2	5	2	3		3	
	警防課	7			3	1	2	1			
	情報指令課	19			3	2	7	6		1	
	予防課	12			3	4	1	4			
	小 計	56	1	2	11	12	12	14		4	
消 防 署	消防署	56		1	7	13	14	11	3	7	
	朝霧分署	18				2	6	6	1	3	
	中崎分署	37			2	8	13	10		4	
	大久保分署	23				4	8	6	1	4	
	江井島分署	10				2	2	6			
	魚住分署	19				4	8	3	1	3	
	二見分署	18				4	6	6	2		
小 計	181		1	9	37	57	48	8	21		

※県・市への出向職員、兵庫県消防学校及び救急救命士養成所への入校職員を含んでいます。

10 職員階級別年齢構成

(2019年4月1日現在)

階級 年齢	実 員	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	比 率
総数	237	1	3	20	49	69	62	8	25		
20歳未満	3								3		1.3%
20歳以上～25歳未満	15								15		6.3%
25歳以上～30歳未満	27						13	7	7		11.4%
30歳以上～35歳未満	40					2	38				16.9%
35歳以上～40歳未満	35					27	7	1			14.8%
40歳以上～45歳未満	41				11	28	2				17.3%
45歳以上～50歳未満	33			3	21	7	2				13.9%
50歳以上～55歳未満	24		2	8	11	3					10.1%
55歳以上	19	1	1	9	6	2					8.0%
平均年齢	39.0	59.0	54.7	54.8	48.4	40.7	31.7	27.8	22.6		

※県・市への出向職員、兵庫県消防学校及び救急救命士養成所への入校職員を含んでいます。

11 職員階級別勤続年数

(2019年4月1日現在)

階級 勤続年数	実 員	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 職 員	比 率
総数	237	1	3	20	49	69	62	8	25		
5年未満	22							7	15		9.3%
5年以上～10年未満	35						25		10		14.8%
10年以上～15年未満	49					14	34	1			20.7%
15年以上～20年未満	32				3	26	3				13.5%
20年以上～25年未満	25			2	10	13					10.5%
25年以上～30年未満	34		1		22	11					14.3%
30年以上～35年未満	14			7	4	3					5.9%
35年以上	26	1	2	11	10	2					11.0%
平均勤続年数	17.8	37	34.7	34.8	28	19.5	9.1	4.5	3.5		

※県・市への出向職員、兵庫県消防学校及び救急救命士養成所への入校職員を含んでいます。

1 2 職員研修状況

(2018年度)

研修先	科 目	期 間	対 象	人 員
消防大学校	専科教育 救助科	52日間	消防司令補	1
	実務講習会 緊急消防援助隊教育科 NBCコース	19日間	消防司令補	1
	実務講習会 危機管理・防災教育科 危機管理・国民保護コース	8日間	消防司令長	1
兵庫県消防学校	初任教育	6ヶ月間	新規採用者	5
	専科教育 警防科	10日間	消防士長	2
	専科教育 特殊災害科	10日間	消防司令補	2
	専科教育 危険物科	5日間	消防司令 消防司令補	2
	専科教育 火災調査科	10日間	消防士長	2
	専科教育 救急科	38日間	消防士	5
	専科教育 救助科	22日間	消防士長	2
	幹部教育 中級幹部科	7日間	消防司令	2
	幹部教育 上級幹部科	3日間	消防司令長	1
	特別教育 潜水科	5日間	消防士 消防士長	2
	特別研修 通信担当者研修	3日間	消防司令補	1
	山岳用救助器具取扱技術研修	3日間	消防士長	1
	惨事ストレス研修	4日間	消防司令長	2
神戸市消防学校	特殊災害課程	7日間	消防司令補	1
兵庫県 救急救命士養成所	救急救命士	7ヶ月間	消防司令補	1
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡追加講習	2日間	消防司令補	3
		2日間	消防士長	1
救急救命 東京研修所	救急救命士	7ヶ月間	消防士長	1
安全運転 中央研修所	消防緊急運転技能者研修	4日間	消防司令補	1

13 消防車両現有表

(2019年4月1日現在)

所属		車両番号	車両用途別	車体メーカー	初度登録日
消防局	1	神戸302そ6609	連絡車	トヨタ	2010/4/30
	2	神戸531み1809	連絡車	日産	2018/9/21
	3	神戸483こ1811	連絡車	ホンダ	2018/11/22
	4	神戸332ね1803	連絡車	日産	2018/3/20
	5	神戸800す9896	警防指揮車	三菱	2006/6/23
	6	神戸480せ3583	連絡車	スズキ	2010/3/16
	7	神戸800そ1240	警防指揮車	日産	2006/7/29
	8	神戸800す3600	査察広報車	三菱	2003/9/12
	9	神戸800す9785	査察広報車	日産	2001/5/23
	10	神戸400ひ8631	応急手当普及啓発車	日産	2017/11/28
消防署	11	神戸800は3035	はしご車	日野	2014/11/20
	12	神戸800は2303	支援車	日野	2011/1/18
	13	神戸800は 533	化学車	日野	2002/2/8
	14	神戸830そ1903	救助工作車	日野	2019/3/8
	15	神戸800は2519	多目的災害コンテナ車	日野	2012/2/28
	16	神戸800は2107	水槽付消防ポンプ車	日野	2010/1/18
	17	神戸800は1712	水槽付消防ポンプ車	日野	2007/12/11
	18	神戸800す8770	指揮車	日産	2005/12/26
	19	神戸800せ1610	高規格救急車	トヨタ	2016/11/1
	20	神戸800せ7690	高規格救急車	日産	2011/1/31
	21	神戸800せ1338	緊急輸送車	日産	2007/1/29
	22	神戸800す8574	査察広報車	日産	2005/11/28
	23	1神戸 ゆ 3811	赤バイ	カワサキ	2001/3/22
	24	1神戸 ゆ 3812	赤バイ	カワサキ	2001/3/22
朝霧分署	25	神戸830す1711	消防ポンプ車	日野	2017/11/22
	26	神戸830そ1199	高規格救急車	トヨタ	2015/10/29
	27	神戸800す6955	緊急作業車	日産	2005/3/10
中崎分署	28	神戸800は 485	はしご車	日産	2001/10/15
	29	神戸800は2523	水槽付消防ポンプ車	日野	2012/3/6
	30	神戸800せ4766	消防ポンプ車	日野	2009/1/13
	31	神戸800す9118	消防ポンプ車	いすゞ	2006/2/28
	32	神戸830す1710	高規格救急車	トヨタ	2017/10/20
	33	神戸800せ1451	高規格救急車	トヨタ	2007/2/22
	34	神戸800せ 337	緊急作業車	日産	2006/8/28
	35	神戸800は2468	救助工作車	日野	2011/12/13
大久保分署	36	神戸800は3456	水槽付消防ポンプ車	日野	2016/11/24
	37	神戸800す4207	水槽付消防ポンプ車	日野	2003/12/12
	38	神戸800す1622	高規格救急車	トヨタ	2013/11/14
	39	神戸800せ2234	緊急作業車	日産	2007/7/13
江井島分署	40	神戸800せ4767	消防ポンプ車	日野	2009/1/13
	41	神戸800す7638	緊急作業車	日産	2005/7/8
	42	神戸830さ1810	高規格救急車	トヨタ	2018/10/16
魚住分署	43	神戸800そ 617	消防ポンプ車	トヨタ	2013/2/26
	44	神戸830 1173	高規格救急車	トヨタ	2013/2/21
	45	神戸800す7637	緊急作業車	日産	2005/7/8
二見分署	46	神戸800は2305	化学車	日野	2011/1/20
	47	神戸800そ1623	高規格救急車	トヨタ	2013/11/14
	48	神戸800す6956	緊急作業車	日産	2005/3/10

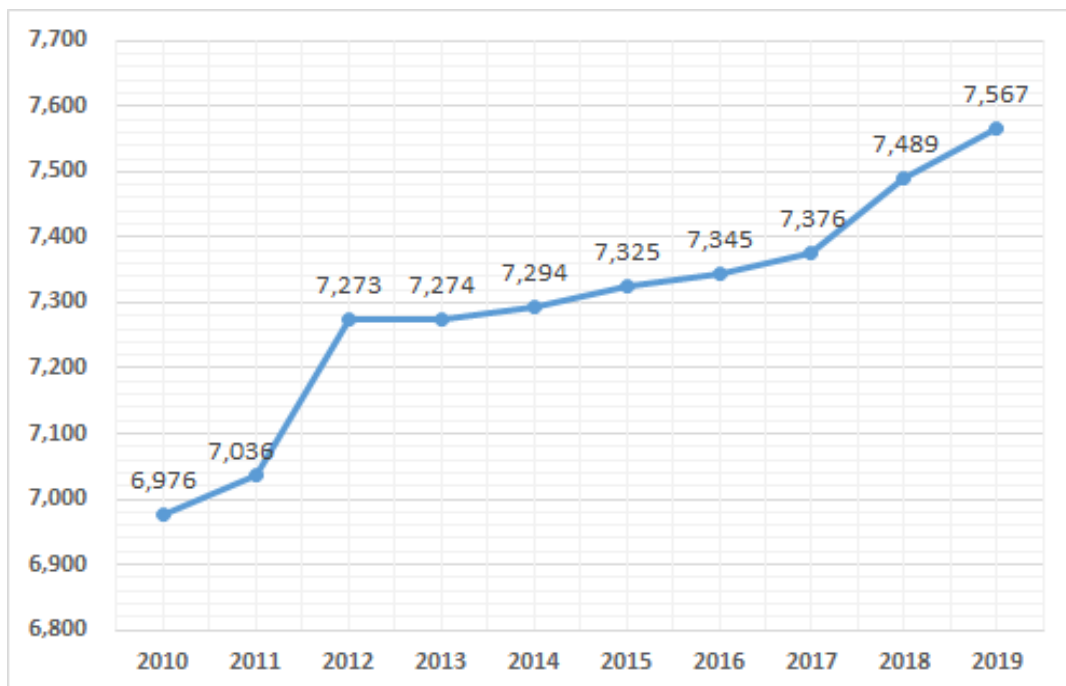
※ 緊急車両 40台 普通車両 8台

1 4 消防水利状況

(各年4月1日時点)

種別	区分	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
消火栓	公設	7,182	7,202	7,233	7,346	7,415	
	私設	143	143	143	143	152	
	小計	7,325	7,345	7,376	7,489	7,567	
防火水そう	公設	飲料水兼用100m ³	9	9	9	9	9
		100m ³ 以上	1	1	1	1	1
		60m ³ 以上100m ³ 未満	4	4	4	4	3
		40m ³ 以上60m ³ 未満	179	185	188	192	201
		20m ³ 以上40m ³ 未満	3	3	3	3	3
	私設	100m ³ 以上	5	5	6	6	15
		60m ³ 以上100m ³ 未満	10	10	10	10	23
		40m ³ 以上60m ³ 未満	252	263	270	284	294
		20m ³ 以上40m ³ 未満	1	1	1	1	9
	小計		464	481	492	510	558
合計		7,789	7,826	7,868	7,999	8,125	

「消火栓設置数の推移」



15 火災警戒実施状況

(2018年度)

	回数	時間	人員	警戒地域	期間
年末特別消防巡ら警戒	179	147時間35分	582	市内全域	12月10日～12月31日
年始特別消防巡ら警戒	74	53時間13分	261	市内全域	1月1日～1月10日

16 介護予防教育

(子どもと取組む介護予防プロジェクト)

予防救急の視点から、脳卒中と高齢者の骨折による要介護者を減少させるため、2014年9月から、市内の小学校高学年を対象に介護予防教育の取組を進めています。

(2018年度)

	学校名	実施日	学年	組数	人数	時間
1	高丘西小学校	6月29日	4年生	3	81	2時限
2	山手小学校	7月11日	5年生	5	168	2時限
3	貴崎小学校	9月21日	4年生	2	42	2時限
4	錦が丘小学校	9月26日	4年生	2	69	2時限
5	江井島小学校	10月9日	4年生	4	139	2時限
6	王子小学校	10月19日	4年生	2	45	1時限
7	藤江小学校	10月24日	4年生	4	109	2時限
8	花園小学校	11月19日	4年生	2	67	2時限
9	二見小学校	11月26日	4年生	2	62	2時限
10	中崎小学校	11月27日	4年生	2	50	2時限
11	松が丘小学校	12月7日	4年生	2	57	2時限
12	高丘東小学校	12月14日	4年生	2	41	2時限
13	清水小学校	12月14日	4年生	4	110	2時限
14	谷八木小学校	12月17日	4年生	3	74	2時限
15	林小学校	12月19日	4年生	3	85	1時限
16	二見北小学校	2月2日	4年生	3	78	2時限
17	錦浦小学校	2月19日	4年生	4	138	2時限
18	魚住小学校	2月22日	4年生	4	128	2時限
計					1,543人	34時限

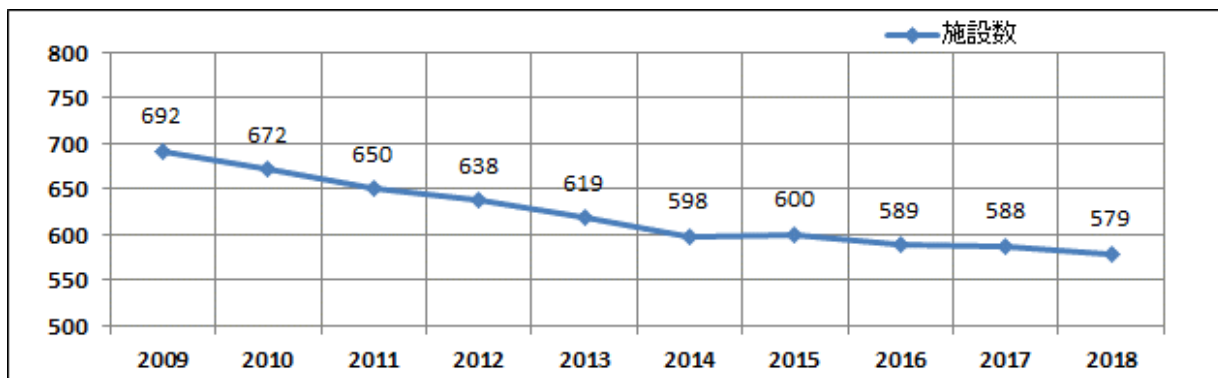
17 防火対象物状況と査察

防火対象物数(延べ面積 150 m²以上)は 2019 年 4 月 1 日現在、査察実施数は 2018 年度

防火対象物		区 分	防火対象物数	査察実施数
1項	イ	劇場等、映画館、演芸場又は観覧場	4	3
	ロ	公会堂又は集会場	135	18
2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブなど		
	ロ	遊技場又はダンスホール	16	1
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗など		
	ニ	カラオケボックス、インターネットカフェなど	1	
3項	イ	待合、料理店など		
	ロ	飲食店等	106	33
4項		百貨店などの物品販売店又は展示場	273	81
5項	イ	旅館、ホテル、宿泊所など	28	29
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	2,461	274
6項	イ	病院、診療所又は助産院	110	26
	ロ	老人短期入所施設・障害児入所施設など	72	84
	ハ	老人デイサービスセンター・児童養護施設など	171	71
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	47	1
7項		小学校、中学校、高等学校など	208	26
8項		図書館、博物館、美術館など	3	1
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場など		
	ロ	イ以外の公衆浴場	7	1
10項		車両の停車場など	9	2
11項		神社、寺院、教会など	83	15
12項	イ	工場又は作業場	801	72
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		
13項	イ	自動車車庫又は駐車場	64	5
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		
14項		倉庫	407	41
15項		前各項に該当しない事業場	791	104
16項	イ	特定用途に供する複合用途防火対象物	816	392
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	323	64
16の2項		地下街		
16の3項		準地下街		
17項		重要文化財	2	6
18項		延長50m以上のアーケード	7	
合 計			6,945	1,350

18 危険物許可施設数の推移

(各年4月1日時点)



19 危険物施設の状況と査察

危険物施設数は2019年4月1日現在、査察実施数は2018年度

施設別		貯蔵・取扱い危険物・指定可燃物						施設数	査察数	
		1類	2類	3類	4類	5類	6類			指定可燃物
危険物許可施設	製造所				9			9	9	
	貯蔵所	屋内貯蔵所		2		134	2		138	13
		屋外タンク貯蔵所				65			65	27
		屋内タンク貯蔵所				9			9	
		地下タンク貯蔵所				112			112	10
		簡易タンク貯蔵所				1			1	
		移動タンク貯蔵所				40			40	39
		屋外貯蔵所				32			32	15
	取扱所	給油取扱所				58			58	6
		販売取扱所				3			3	
一般取扱所					112			112	11	
計			2		575	2		579	130	
少量危険物・指定可燃物施設		1	3		471			84	559	40
合計		1	5	0	1,046	2	0	84	1,138	170

類別	性質	代表的な物資
第1類	酸化性固体	塩素酸ナトリウム、硫酸カリウム、硝酸アンモニウム
第2類	可燃性固体	赤リン、硫黄、鉄粉、固形アルコール、ラッカーパテ
第3類	自然発火性物質及び禁水性物質	ナトリウム、アルキルアルミニウム、黄リン
第4類	引火性液体	ガソリン、灯油、軽油、重油、アセトン、メタノール
第5類	自己反応性物質	ニトログリセリン、トリニトロトルエン、ヒドロキシルアミン
第6類	酸化性液体	過塩素酸、過酸化水素、硝酸

20 予防関係事務処理状況

(1) 防火対象物関係

(2018年度)

申請届出の種類	処理件数	申請届出の種類	処理件数
建築同意	321	喫煙承認申請	
防火管理者選解任届出	615	裸火使用承認申請	9
消防計画作成(変更)届出	639	危険物品持込み承認申請	63
防災管理者選任(解任)届出	17	変・発・蓄電設備設置届出	79
防災管理消防計画作成(変更)届出	20	ネオン管設備設置届出	
統括防火管理者選任(解任)届出	16	炉設置届出	6
全体の消防計画作成(変更)届出(防火)	16	厨房設備届出	8
統括防災管理者選任(解任)届出		温風暖房機設置届出	
全体の消防計画作成(変更)届出(防災)		ボイラー設置届出	11
管理権原者変更届出	2	給湯湯沸設備届出	7
防火管理者の証交付申請	10	乾燥設備設置届出	6
消防用設備等着工届出	316	サウナ設備届出	
消防用設備等工事届出	246	ヒートポンプ冷暖房機設置届出	17
消防用設備等設置届出	890	火花を生ずる設備設置届出	
消防用設備等点検結果届出	2,629	放電加工機設置届出	
防火対象物使用開始届出	507	百貨店等の避難通路設置変更届出	13
防火対象物点検報告特例認定申請	6	催物開催届出	27
防災管理点検報告特例申請		消防用設備業届出	25
防火対象物定期点検結果報告書	147	基準の特例適用申請書	22
防災対象物定期点検結果報告書	7	指定洞道等届出	
表示マーク交付(更新)申請	1	放電加工機	1
自衛消防組織設置(変更)届出	7	露店等の開設届出	65
消防設備等検査済証交付	64	火災予防上必要な業務に関する計画	8
消防法令適合通知交付申請書	1	合 計	6,844

(2) 危険物関係

(2018年度)

申請届出の種類	処理件数	申請届出の種類	処理件数
危険物製造所等設置(変更)許可申請	240	危険物製造所等災害発生届出	8
危険物製造所等仮使用承認申請	207	危険物取扱者届	
危険物製造所等完成検査申請	168	危険物製造所等再開届	2
予防規程制定(変更)認可申請	9	危険物製造所等休止届	1
危険物仮貯蔵仮取扱承認申請	25	危険物製造所等譲渡引渡届	2
危険物製造所等完成検査前検査申請	71	少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱(変更)届出	78
危険物製造所等軽微変更届出	333	少量危険物・指定可燃物貯蔵取扱廃止届出	16
危険物製造所等火気使用工事届出	182	液化石油ガス・圧縮アセチレンガス貯蔵取扱届出	9
危険物保安監督者選任解任届出	72	液化石油ガス・圧縮アセチレンガス貯蔵取扱廃止届出	
工事整備対象設備等着工(設置)届出	34	毒物・劇物貯蔵取扱届出	
危険物製造所等品名、数量又は指定数量の倍数変更届出	10	毒物・劇物貯蔵取扱廃止届出	
危険物製造所等廃止届出	14	合 計	1,481

21 消防同意事務処理状況

(2018年度)

用途		区分	新築	増築	改築 移築等	合計
1項	イ	劇場等、映画館、演芸場又は観覧場				0
	ロ	公会堂又は集会場	4			4
2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブなど				0
	ロ	遊技場又はダンスホール				0
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗など				0
	ニ	カラオケボックス、インターネットカフェなど				0
3項	イ	待合、料理店など				0
	ロ	飲食店等	6	1		7
4項		百貨店などの物品販売店又は展示場	12	3		15
5項	イ	旅館、ホテル、宿泊所など				0
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	61	2		63
6項	イ	病院、診療所又は助産院	2	3		5
	ロ	老人短期入所施設・障害児入所施設など				0
	ハ	老人デイサービスセンター・児童養護施設など	17	1	4	22
	ニ	幼稚園又は特別支援学校				0
7項		小学校、中学校、高等学校など	2	3		5
8項		図書館、博物館、美術館など				0
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場、熱気浴場など				0
	ロ	イ以外の公衆浴場				0
10項		車両の停車場など	1			1
11項		神社、寺院、教会など	1	1		2
12項	イ	工場又は作業場	4	7		11
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ				0
13項	イ	自動車車庫又は駐車場	6	1		7
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫				0
14項		倉庫	20	7	1	28
15項		前各項に該当しない事業場	23	9		32
16項	イ	特定用途に供する複合用途防火対象物	10		2	12
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	7			7
16の2項		地下街				0
16の3項		準地下街				0
17項		重要文化財				0
18項		延長50m以上のアーケード				0
専用住宅等			99			99
建築設備等			1			1
合 計			276	38	7	321

2 2 防火管理講習会実施状況

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
乙種防火管理講習 修了者数	18	14	15	24	17

2 3 危険物施設に係る申請状況

(2018年度)

	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
設置許可	10			4		2				1			3
変更許可	223	4	2	15	1	5			4	1	13		178
仮使用承認	203	4	1	5	1	3					12		177
完成検査	設置	11		1		4				1	1		4
	変更	170	4	2	8	1	3		3	1	12		136
合計	617	12	6	32	3	17	0	7	4	38	0	498	

予防規程認可 (制定・変更)	9
仮貯蔵仮取扱承認	25
完成検査前検査	71
合計	105

正誤表

本紙18ページにて、誤りがございましたので、下記の通り訂正します。

2 3 危険物施設に係る申請状況

【正】

(2018年度)

	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	
設置許可	9			4		2				1			2
変更許可	231	4	1	15	1	5			3	1	15		186
仮使用承認	207	4	1	5	1	3					13		180
完成検査	設置	14		1	3		4		1	1	1		3
	変更	154	4	2	5	1	3		2	1	13		123
合計	615	12	5	32	3	17	0	6	4	42	0	494	

予防規程認可 (制定・変更)	9
仮貯蔵仮取扱承認	25
完成検査前検査	71
合計	105

24 防災センター来館状況

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
4月	595	704	885	1,050	1,552
5月	1,471	1,120	1,259	1,944	1,695
6月	980	1,294	1,196	2,042	1,284
7月	817	1,335	1,270	2,017	1,875
8月	859	717	1,006	1,302	1,094
9月	1,109	729	999	1,912	1,520
10月	669	844	831	1,027	1,042
11月	658	879	1,285	1,095	1,169
12月	332	632	501	627	622
1月	275	556	591	804	900
2月	850	763	585	1,274	1,103
3月	655	551	861	1,233	1,928
合 計	9,270	10,124	11,269	16,327	15,784

※2017年度から会議・講演・協議会等の来館者を含みます。

25 訓練指導等の実施状況

防災センターでは、要望に応じて地域に出向き防火指導や防災指導を行っています。

(2018年度)

内 容	対 象	自主防災 組織等	宿泊施設 事業所等	小・中・高 各種学校等	幼稚園 保育園	その他の 団体	合 計
	防火指導	回	105	128	24	57	
受講者		5,329	4,655	9,393	6,187		25,564
防災指導	回	34	11	7	1		53
	受講者	6,847	1,461	2,235	140		10,683
合 計	回	139	139	31	58	0	367
	受講者	12,176	6,116	11,628	6,327	0	36,247

26 市民救命士講習及び救急指導実施状況

心肺蘇生法等の応急手当やAED（自動体外式除細動器）の使用方法を習得する市民救命士講習及び、総務省消防庁が示す「救急受診ガイド」に沿った救急要請の判断と応急手当の体験をする救急指導を開催しています。

(2018年度)

内容	対象	自主防災組織等	宿泊施設事業所等	小・中・高各種学校等	幼稚園 保育園	その他の 団体	合計
	市民救命士講習	回 受講者	19 396	91 1,695	54 1,589	13 264	19 330
救急指導	回 受講者	39 2,544	24 1,574	15 587	5 157		83 4,862
合計	回 受講者	58 2,940	115 3,269	69 2,176	18 421	19 330	279 9,136

市民救命士講習実施状況

(2018年度)

区分 月	救命講習 I		救命講習 II		救命講習 III		上級救命講習		インストラクター講習		KIDS救命士講習		救命入門コース		合計	
	回	受講者	回	受講者	回	受講者	回	受講者	回	受講者	回	受講者	回	受講者	回	受講者
4月	10	173					1	15					1	29	12	217
5月	19	456											9	361	28	817
6月	25	533					1	28					13	424	39	985
7月	14	280											9	252	23	532
8月	13	205					1	17	1	19			3	44	18	285
9月	7	96											3	63	10	159
10月	8	137					1	16					1	11	10	164
11月	11	179											3	59	14	238
12月	6	105	2	101			1	13					1	32	10	251
1月	6	103	1	37											7	140
2月	14	265					2	43					2	53	18	361
3月	6	109			1	16									7	125
合計	139	2,641	3	138	1	16	7	132	1	19			45	1,328	196	4,274

市民救命士講習の区分

救命講習 I：成人を対象とした心肺蘇生法の講習（3時間）

救命講習 II：医療従事者に対する講習（4時間）

救命講習 III：小児、乳児、新生児の心肺蘇生法を対象とした講習（3時間）

上級救命講習：成人を対象とした心肺蘇生法、傷病者管理法、副子固定法、熱傷の手当、搬送法等の講習（8時間）

インストラクター講習：事業所又は防災組織等において従業員又は、防災組織等の構成員に対して行う市民救命士講習の指導に従事する者を養成する講習（8時間×3日間）

KIDS救命士講習：小学4年生以上6年生以下の者を対象とした講習（1時間30分）

救命入門コース：成人を対象とした心肺蘇生法の入門講習（90分・45分）

災害統計

- 1 消防通信
- 2 市内地区別災害出動件数
- 3 火災出動
- 4 救急出動
- 5 救助出動
- 6 風水害出動
- 7 その他の災害出動

1 消防通信

(1) 119 番通報受付状況

区分	種 別	2018年中 (A)	2017年中 (B)	対前年比		
				増減数(C) (A)-(B)	増減率 (C)/(B)×100	
災害 関係 通報	火 災	138	143	▲ 5	▲ 3.5	
	救 助	211	199	12	6.0	
	そ の 他 の 災 害	321	222	99	44.6	
	風 水 害	174	5	169	-	
	救 急 救 助	0	0	0	-	
	救 急	14,251	13,839	412	3.0	
	他市へ 転送	加 古 川 市	147	139	8	5.8
		神 戸 市	342	272	70	25.7
		そ の 他	38	29	9	31.0
		小 計	15,622	14,848	774	5.2
緊急性の 無い通報	い た ず ら	31	57	▲ 26	▲ 45.6	
	問 合 せ	2,027	2,054	▲ 27	▲ 1.3	
	間 違 い	653	553	100	18.1	
	そ の 他	1,932	1,932	0	0.0	
	小 計	4,643	4,596	47	1.0	
通 報 訓 練		841	826	15	1.8	
合 計		21,106	20,270	836	4.1	

※「他市へ転送」とは、市外で発生した災害関係通報を受付けた場合に、該当する管轄消防本部へ切断せずに転送することです。

(2) 医療案内状況

(2018年中)

「時間帯別医療案内件数」

時間	案内件数	問合せ件数
0時	312	210
1時	234	158
2時	133	92
3時	96	77
4時	91	68
5時	102	69
6時	167	107
7時	298	194
8時	327	228
9時	734	428
10時	549	344
11時	512	333
12時	671	441
13時	679	447
14時	710	436
15時	791	510
16時	928	539
17時	1,023	638
18時	1,211	729
19時	1,202	765
20時	1,101	700
21時	863	566
22時	497	327
23時	322	224
合計	13,553	8,630

「診療科目別医療案内件数」

科目	案内件数
外科	2,416
内科	2,816
小児科	1,615
整形外科	3,568
眼科	490
耳鼻科	534
脳外科	797
その他	1,317
合計	13,553

- ・ 緊急性が無い病気やケガ等で医療機関をお探しの場合は、明石市消防局の代表電話（078-921-0119）へ問合せ下さい。

2 市内地区別災害出動件数

(2018年中)

地区名	人口	火災出動	救急出動	救助出動	風水害	その他の災害
松が丘1丁目	1,906		132	5		12
松が丘2丁目	1,363	1	129	7		7
松が丘3丁目	1,026		32			2
松が丘4丁目	1,280		158	1		9
松が丘5丁目	1,007		59	1		11
松が丘北町	882		47			7
大蔵谷奥	644		55			12
東山町	802		16			
朝霧北町	1,236		37	1		2
朝霧台	1,238		145	1		2
朝霧山手町	764		31		1	3
朝霧南町1丁目	246		49	1		5
朝霧南町2丁目	1,210		42			7
朝霧南町3丁目	766		32	1	2	5
朝霧南町4丁目	1,094	1	47	1	2	6
朝霧東町1丁目	666		34		1	1
朝霧東町2丁目	1,274		43		1	4
朝霧東町3丁目	610		22	1		1
朝霧町1丁目	800	2	37	2		1
朝霧町2丁目	570		31	2		
朝霧町3丁目	501	1	38	1	1	3
北朝霧丘1丁目	774		38			1
北朝霧丘2丁目	534		14			
東朝霧丘	1,915		88	4		4
中朝霧丘	862		37			5
西朝霧丘	583		20	3	1	1
荷山町	892		54		1	2
東野町	4,296		126	2	1	13
太寺大野町	776		25			
太寺天王町	1,119		42	1		4
太寺1丁目	1,102		40	2		3
太寺2丁目	798		20		1	3
太寺3丁目	587		21			2
太寺4丁目	870		32			6
東人丸町	1,157		54	1		8
人丸町	533		21			1
山下町	869	1	48	1		4
上ノ丸1丁目	925		36		1	2
上ノ丸2丁目	658		35	3		4
上ノ丸3丁目	805		35		1	2
明石公園	-		56	1		7
鷹匠町	1,331		175		1	4

地区名	人口	火災出動	救急出動	救助出動	風水害	その他の災害
茶園場町	930	1	53	3		4
大蔵八幡町	922		53	2		8
大蔵町	477		26	1		1
大蔵中町	551		27			5
大蔵本町	472		61			3
大蔵天神町	456		42	1	3	4
天文町1丁目	215		78			2
天文町2丁目	320		15			1
相生町1丁目	554		29	1	1	2
相生町2丁目	1,022		62		4	8
中崎1丁目	363		40	3		2
中崎2丁目	1,388		47	2	1	11
鍛冶屋町	128		35	3	2	7
桜町	975		57	1	2	8
東仲ノ町	1,193		144	2		13
大明石町1丁目	1,551		491	5	1	22
大明石町2丁目	1,017		67	1		8
本町1丁目	842		96	1	3	4
本町2丁目	866	1	70	1	1	6
材木町	717		49	1		5
樽屋町	1,260		86	4	1	10
日富美町	525		28	1		1
大観町	744		39	1		5
港町	760		68	4		2
岬町	766		37	1		5
大蔵海岸通1丁目	-	1	57			7
大蔵海岸通2丁目	-		13	4		
西新町1丁目	702		41		1	4
西新町2丁目	1,438		67	2	2	7
西新町3丁目	744		58			8
北王子町	1,065		95	1		8
王子1丁目	506		20	1		3
王子2丁目	745		65	2		3
南王子町	602		50	2		3
大道町1丁目	644		32	1		3
大道町2丁目	491	1	32	2		5
硯町1丁目	474		39			7
硯町2丁目	1,337	1	130	1		7
硯町3丁目	1,626		79	1		10
田町1丁目	658		22			1
田町2丁目	698	2	73	2		2
新明町	518		32			3
船上町	961		34	1		1
和坂稻荷町	162		21			4

地区名	人口	火災出動	救急出動	救助出動	風水害	その他の災害
宮の上	1,340		51	2		5
立石1丁目	328		19	1		2
立石2丁目	790		24	1	1	3
貴崎1丁目	457		24			1
貴崎2丁目	643		31			2
貴崎3丁目	1,627		73	1		8
貴崎4丁目	554		42	1		
貴崎5丁目	995		68	2		8
南貴崎町	347		30			2
林崎町1丁目	126		17			1
林崎町2丁目	616		41	1		2
林崎町3丁目	1,039	2	50			9
林1丁目	528		33	1		2
林2丁目	800		48	2	1	3
林3丁目	783	1	46			5
松江	1,822	1	76	2		10
和坂1丁目	1,234		53	1		2
和坂2丁目	634		29			2
和坂3丁目	725		39			3
西明石町1丁目	385		9			2
西明石町2丁目	505	1	27	1	1	1
西明石町3丁目	473		22			3
西明石町4丁目	349		34			1
西明石町5丁目	593		43	2		1
川崎町	1,411		46	1		25
西明石南町1丁目	363		28	1		2
西明石南町2丁目	975		94			8
西明石南町3丁目	1,642		63			4
和坂	804		38	1		5
花園町	129		8		1	2
松の内1丁目	1,370		68	2		6
松の内2丁目	1,741		127	1	1	11
野々上1丁目	984		51	1		5
野々上2丁目	729		51	2		4
野々上3丁目	1,374		95	4		9
小久保1丁目	1,358		76	1		7
小久保2丁目	1,025		231	3	1	10
小久保3丁目	1,363		28	1		
小久保4丁目	801		14			1
小久保5丁目	1,135		31			1
小久保6丁目	1,191		21			2
西明石北町1丁目	654		34	2	1	2
西明石北町2丁目	461		20			2
西明石北町3丁目	872		53	2		2

地区名	人口	火災出動	救急出動	救助出動	風水害	その他の災害
鳥羽	3,501	1	105	1	3	8
西明石東町	791		21			1
旭が丘	965		55	1		2
明南町1丁目	563		43			4
明南町2丁目	1,849		55			1
明南町3丁目	13		11	1		1
沢野1丁目	462		25	1		2
沢野2丁目	699		32			
小久保	898		20	1		1
西明石西町1丁目	725		37	1		4
西明石西町2丁目	958		31			
別所町	1,276		65	3		12
東藤江1丁目	1,095		47	2		7
東藤江2丁目	706		37			5
藤が丘1丁目	1,092		70			
藤が丘2丁目	899		32	1		1
藤江	11,403	8	504	10	5	50
本庁地区計	139,626	27	8,289	164	52	694
松陰新田	254	1	10		1	2
森田	2,318		116	3	2	10
松陰	4,855	2	156	6	3	9
松陰山手	559	1	19		1	1
大久保町	6,579	1	237	4	1	11
駅前1丁目	887		83	3	1	4
駅前2丁目	892		36	2		2
大窪	16,099	3	815	19	3	72
山手台1丁目	651		29			1
山手台2丁目	789		44	4	1	4
山手台3丁目	685		32	3		2
山手台4丁目	707		8			1
高丘1丁目	1,232		38			3
高丘2丁目	876		24			2
高丘3丁目	2,423		99	5		10
高丘4丁目	395		10			2
高丘5丁目	1,809		86	2		7
高丘6丁目	555		22		1	1
高丘7丁目	2,067		79	2		2
西脇	3,155	2	135	4	2	9
緑が丘	980	1	23	2		3
茜1丁目	500		16			1
茜2丁目	672	1	24			1
茜3丁目	449		39			3
谷八木	6,335		189	3	2	25
八木	2,633		404			19

地区名	人口	火災出動	救急出動	救助出動	風水害	その他の災害
福田	395		10			4
福田1丁目	346		11			1
福田2丁目	336		8			
福田3丁目	929		18	1		
江井島	6,106	2	386	9	2	24
西島	9,787	2	404	11	2	20
わかば	1,486		42			3
ゆりのき通1丁目	3,731	1	115	2		6
ゆりのき通2丁目	1,334		48	2		3
ゆりのき通3丁目	-	1	16			2
大久保地区計	83,806	18	3,831	87	22	270
金ヶ崎	4,175	3	217	6	3	25
長坂寺	4,204	2	195	4		21
錦が丘1丁目	1,320		37			3
錦が丘2丁目	586	1	25	1		
錦が丘3丁目	1,046		43		1	8
錦が丘4丁目	353		74			4
鴨池	1,105		30			1
清水	16,631	6	800	25	1	90
中尾	2,994		134			12
住吉1丁目	901		33	1		5
住吉2丁目	1,782		57	1	1	4
住吉3丁目	1,404		28	5		
住吉4丁目	1,148	1	35	3		4
西岡	11,784	3	527	13		48
魚住地区計	49,433	16	2,235	59	6	225
福里	4,178	3	157	6		11
東二見	12,209	3	633	15	1	42
西二見	12,383	2	548	22		35
西二見駅前1丁目	10	2	15			3
西二見駅前2丁目	441		16			
西二見駅前3丁目	594		15			2
西二見駅前4丁目	285		8			
南二見	-	3	54	2		7
二見地区計	30,100	13	1,446	45	1	100
市外地区へ	—		19			13
総合計	302,965	74	15,820	355	81	1,302

2 火災出動

(1)火災の状況

区 分	単位	2018年中 (A)	2017年中 (B)	対前年比	
				増減数(C) (A)-(B)	増減率(%) (C)/(B)X100
出 火 件 数	件	74	66	8	12.1
建 物 火 災		37	42	▲ 5	▲ 11.9
林 野 火 災		0	0	0	-
車 両 火 災		6	7	▲ 1	▲ 14.3
船 舶 火 災		0	0	0	-
航 空 機 火 災		0	0	0	-
その他の火災		31	17	14	82.4
焼 損 棟 数	棟	37	91	▲ 54	▲ 59.3
全 焼		4	41	▲ 37	▲ 90.2
半 焼		1	2	▲ 1	▲ 50.0
部 分 焼		3	11	▲ 8	▲ 72.7
ぼ や		29	37	▲ 8	▲ 21.6
建物焼損床面積	m ²	831	3,671	▲ 2,840	▲ 77.4
建物焼損表面積	m ²	24	189	▲ 165	▲ 87.3
林野焼損面積	a	0	0	0	-
死 者 数	人	3	3	0	0.0
負 傷 者 数	人	15	9	6	66.7
り 災 世 帯 数	世帯	34	54	▲ 20	▲ 37.0
全 損		5	20	▲ 15	▲ 75.0
半 損		1	0	1	-
小 損		28	34	▲ 6	▲ 17.6
り 災 人 員 数	人	72	112	▲ 40	▲ 35.7
損 害 額	千円	89,868	250,732	▲ 160,864	▲ 64.2
建 物 火 災		88,749	246,602	▲ 157,853	▲ 64.0
林 野 火 災		0	0	0	-
車 両 火 災		1,090	2,783	▲ 1,693	▲ 60.8
船 舶 火 災		0	0	0	-
航 空 機 火 災		0	0	0	-
その他の火災		29	1,347	▲ 1,318	▲ 97.8
出 火 率	件/万人	2.5	2.4	-	-

(2)出火時間帯別火災の状況

(2018年中)

区分 時間	出火件数						焼損棟数					死者負傷者	
	計	建物	林野	車両	船舶	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	死者	負傷者
合計	74	37		6		31	37	4	1	3	29	3	15
0～1時													
1～2時													
2～3時		1				1					1		
3～4時		1		1							1		
4～5時		3				1		1			2		2
5～6時						1							
6～7時		1		1							1		1
7～8時		4						1			3	2	2
8～9時		2		1							2		
9～10時		1				1					1		
10～11時						3							
11～12時		4		2		3					4		1
12～13時		1									1		
13～14時		1									1		
14～15時		1				3					1		
15～16時		2		1		4		1			1	1	
16～17時		1				4					1		
17～18時		3				4				1	2		
18～19時		2				1					2		4
19～20時		2				1			1		1		2
20～21時		1									1		1
21～22時		1								1			
22～23時		1				3				1			
23～0時		3						1			2		2
不明		1				1					1		

(3)死傷者の状況

年 齢 区 分	死 者				負 傷 者			
	2018年中		2017年中		2018年中		2017年中	
	人 数	構 成 比 (%)	人 数	構 成 比 (%)	人 数	構 成 比 (%)	人 数	構 成 比 (%)
5 歳 以 下					3	20.0		
6 歳 ～ 6 4 歳 以 下			1	33.3	6	40.0	8	88.9
6 5 歳 以 上	3	100.0	2	66.7	6	40.0	1	11.1
年 齢 不 明								
合 計	3	100	3	100	15	100	9	100

(4)初期消火の状況

(2018 年中)

	建 物		車 両		そ の 他	
	成 功	失 敗	成 功	失 敗	成 功	失 敗
水バケツ	1				2	1
泡消火器						
二酸化炭素消火器						
粉末消火器	5	2	2	1	1	
屋内消火栓設備		1				
スプリンクラー設備						
水噴霧消火設備						
泡消火設備						
二酸化炭素消火設備						
粉末消火設備						
屋外消火栓設備						
水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた	8	2	1		4	1
寝具、衣類等をかけた	3					
もみ消した						1
その他	2				1	1
合 計	19	5	3	1	8	4

(5)年別火災発生状況

年	区分	火災件数	火災種別					焼損面積		焼損棟数	り災世帯	り災人員	死傷者		損害額 (千円)
			建物	林野	車両	船舶	その他	建物 (㎡)	林野 (a)				死者	負傷者	
2009年		69	46	1	4	1	17	967	0	69	44	107	3	16	132,696
2010年		85	51	0	7	1	26	1,572	0	66	54	123	4	18	79,296
2011年		82	45	0	3	2	32	1,195	0	60	41	91	2	17	111,061
2012年		85	48	0	11	0	26	939	0	59	38	94	0	13	49,413
2013年		78	34	0	11	1	32	515	0	44	15	40	2	8	26,467
2014年		77	44	0	6	0	27	485	0	57	43	105	3	18	48,919
2015年		51	37	0	1	0	13	442	0	71	32	83	2	11	33,991
2016年		70	45	0	2	0	23	572	0	57	36	86	4	10	66,387
2017年		66	42	0	7	0	17	3,671	0	91	54	112	3	9	250,732
2018年		74	37	0	6	0	31	831	0	37	34	72	3	15	89,868

10年平均	74	43	0	6	1	24	1,119	0	61	39	91	3	14	88,883
-------	----	----	---	---	---	----	-------	---	----	----	----	---	----	--------

(6)月別火災件数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2009年	7	6	13	6	5	5	4	3	2	7	2	9	69
2010年	11	10	9	7	5	6	1	10	6	3	9	8	85
2011年	13	6	5	6	9	4	5	10	3	5	8	8	82
2012年	11	10	9	7	5	6	1	10	6	3	9	8	85
2013年	6	4	6	6	8	6	5	11	10	4	6	6	78
2014年	8	5	12	5	7	7	7	2	2	7	7	8	77
2015年	7	5	3	2	5	3	6	3	3	5	6	3	51
2016年	8	4	8	6	3	0	6	5	7	5	12	6	70
2017年	4	8	6	4	3	5	7	7	5	5	9	3	66
2018年	4	5	8	5	7	3	5	9	8	5	7	8	74

(7)出火原因別火災件数

出火原因	2009 年中	2010 年中	2011 年中	2012 年中	2013 年中	2014 年中	2015 年中	2016 年中	2017 年中	2018 年中
たばこ	7	10	3	7	3	5	4	7	4	3
こんろ	6	7	13	8	7	14	9	11	7	10
かまど										
風呂かまど				1						
炉								1		
焼却炉				1						
ストーブ	3	4	1	6		2	3	1	4	2
こたつ										
ボイラー										
煙突・煙道										
排気管				2	2	1	1		2	2
電気機器	2	1	2	3	2	1	1	4	4	6
電機装置		1	1	2		1	1	1	1	4
電灯・電話等の配線		4			1	1		2		
内燃機関					1					
配線器具			5	1	6		3	3	7	3
火あそび	8	6	7	7	5	6	3	2	2	2
マッチ・ライター	3	1	1	3			3	1		2
たき火	1	3	2		1	1				
溶接機・切断機	3	3	2		1	2	2	3		1
灯火	1	1			1	2	1	1		
衝突の火花				1		1			1	3
取灰										
火入れ	5	2	5	2	4		2	2	4	6
放火	6	3	11	11	10	9	5	13	17	21
放火の疑い	8	9	10	7	16	8	1	4	3	
その他	9	14	10	16	10	14	7	11	4	8
不明・調査中	7	16	9	7	8	9	5	3	6	1
合計	69	85	82	85	78	77	51	70	66	74

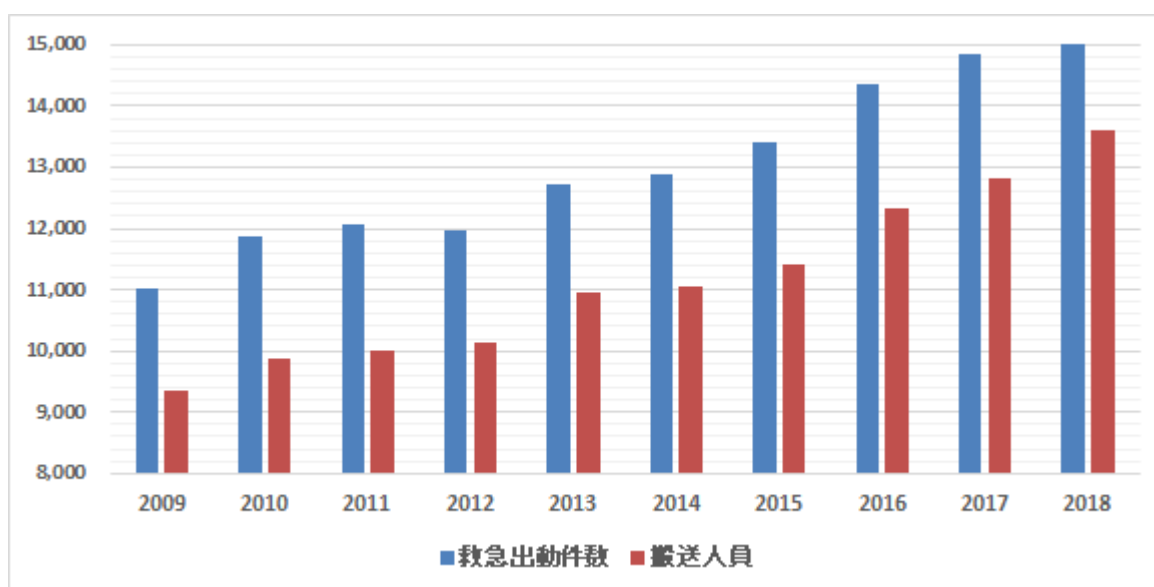
4 救急出動

(1)事故種別出動件数及び搬送人員

事 故 種 別	2018年中		2017年中		対前年比	
	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	増減数 (搬送人員)	増減率 (%)
急 病	9,995 (8,751)	63.18 (64.37)	9,073 (7,951)	61.05 (62.09)	922 (800)	10.2 (10.1)
交 通 事 故	1,055 (953)	6.67 (7.01)	1,143 (1,061)	7.69 (8.29)	▲ 88 (▲ 108)	▲ 7.7 (1.1)
一 般 負 傷	2,451 (2,168)	15.49 (15.95)	2,550 (2,196)	17.16 (17.15)	▲ 99 (▲ 28)	▲ 3.9 (▲ 1.3)
加 害	67 (52)	0.42 (0.38)	65 (45)	0.44 (0.35)	2 (7)	3.1 (15.6)
自 損 行 為	109 (68)	0.69 (0.50)	151 (101)	1.02 (0.79)	▲ 42 (▲ 33)	▲ 27.8 (▲ 32.7)
労 働 災 害	88 (86)	0.56 (0.63)	72 (71)	0.48 (0.55)	16 (15)	22.2 (21.1)
運 動 競 技	72 (69)	0.46 (0.51)	64 (63)	0.43 (0.49)	8 (6)	12.5 (9.5)
火 災	39 (13)	0.25 (0.10)	38 (7)	0.26 (0.05)	1 (6)	2.6 (85.7)
水 難	16 (7)	0.10 (0.05)	10 (4)	0.07 (0.03)	6 (3)	60 (75.0)
自 然 災 害	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (2)	- -
転 院 搬 送	1,414 (1,413)	8.94 (10.39)	1,304 (1,301)	8.77 (10.16)	110 (112)	8.4 (8.6)
医 師 搬 送	65	0.41 -	40	0 -	25 -	63 -
そ の 他	446 (12)	2.82 (0.09)	352 (6)	2.37 (0.05)	94 (6)	26.7 (100)
合 計	15,820 (13,594)	100 (100)	14,862 (12,806)	100 (100)	958 (788)	6.4 (6.2)

※医師搬送は搬送人員を計上しません。

(2)救急出動の推移



区分	救急出動件数 (搬送人員)	対前年比	
		増減数	増減率(%)
2009年中	11,024	428	4.0
	(9,366)	(122)	(1.3)
2010年中	11,885	861	7.8
	(9,862)	(496)	(5.3)
2011年中	12,080	195	1.6
	(10,004)	(142)	(1.4)
2012年中	11,966	▲ 114	▲ 0.9
	(10,146)	(142)	(1.4)
2013年中	12,724	758	6.3
	(10,945)	(799)	(7.9)
2014年中	12,883	159	1.2
	(11,041)	(96)	(0.9)
2015年中	13,421	538	4.2
	(11,416)	(375)	(3.4)
2016年中	14,369	948	7.1
	(12,342)	(926)	(8.1)
2017年中	14,862	493	3.4
	(12,806)	(464)	(3.8)
2018年中	15,820	958	6.4
	(13,594)	(788)	(6.2)

(3)傷病程度別事故種別搬送人員

(2018年中)

事故種別 年齢区分	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合計
死亡 (構成比:%)	131 (1.5)	3 (0.3)	14 (0.6)	19 (1.1)	167 (1.2)
重症 (構成比:%)	246 (2.8)	38 (4.0)	68 (3.1)	81 (4.7)	433 (3.2)
中等症 (構成比:%)	3,897 (44.5)	151 (15.8)	736 (33.9)	1,338 (77.7)	6,122 (45.0)
軽症 (構成比:%)	4,477 (51.2)	761 (79.9)	1,350 (62.3)	284 (16.5)	6,872 (50.6)
その他 (構成比:%)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計 (構成比:%)	8,751 (100)	953 (100)	2,168 (100)	1,722 (100)	13,594 (100)

傷病程度は初診時における医師の診断に基づき次のように分類しています

死亡：初診時において死亡が確認されたものをいいます。

重症：傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいいます。

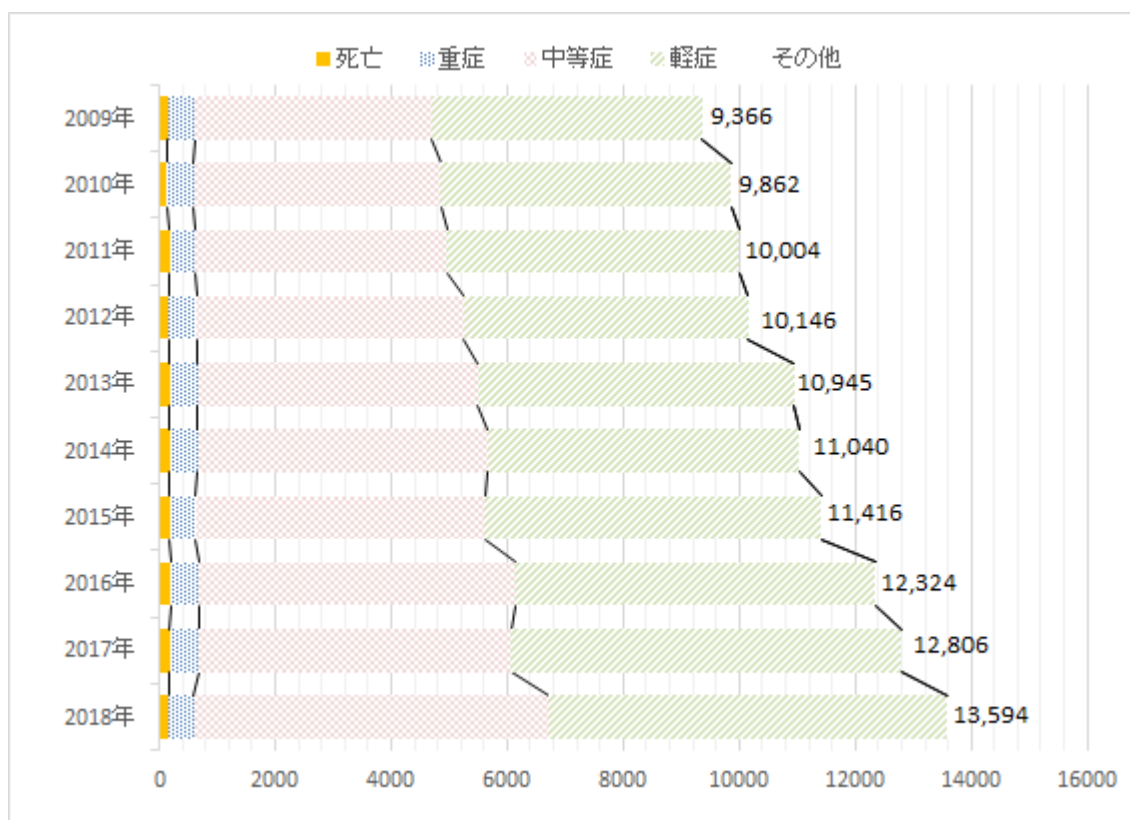
中等症：傷病程度が重症または軽症以外のものをいいます。

軽症：傷病程度が入院加療を必要としないものをいいます。

その他：医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、もしくはその他の場所に搬送したものをいいます。

(4)年別傷病程度別搬送人員の推移

(2018年中)



(5)年齢区分別事故種別搬送人員

(2018年中)

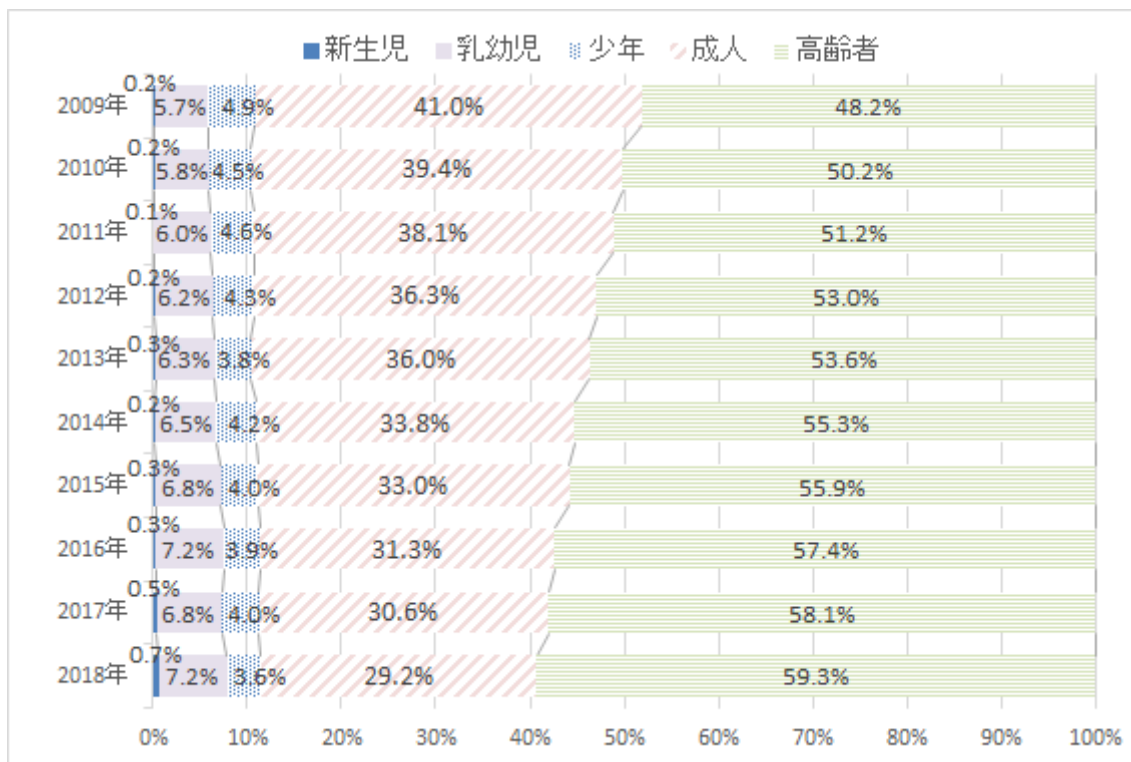
事故種別 年齢区	急病	交通事故	一般負傷	その他 (左記以外)	合計
新生児 (構成比:%)	5 (0.1)	1 (0)	0 (0)	84 (4.9)	90 (0.7)
乳幼児 (構成比:%)	667 (7.6)	29 (3.0)	229 (10.6)	48 (2.8)	973 (7.2)
少年 (構成比:%)	241 (2.8)	87 (9.1)	74 (3.4)	92 (5.3)	494 (3.6)
成人 (構成比:%)	2,528 (28.9)	544 (57.1)	362 (16.7)	537 (31.2)	3,971 (29.2)
高齢者 (構成比:%)	5,310 (60.7)	292 (30.6)	1,503 (69.3)	961 (55.8)	8,066 (59.3)
合計 (構成比:%)	8,751 (100)	953 (100)	2,168 (100)	1,722 (100)	13,594 (100)

年齢区分は次のように分類しています。

- 新生児：生後28日未満の者
- 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者
- 少年：満7歳以上満18歳未満の者
- 成人：満18歳以上満65歳未満の者
- 高齢者：満65歳以上の者

(6) 年別年齢区分別搬送人員の割合

(2018年中)



(7)月別曜日別事故種別出動件数及び搬送人員

(2018年中)

事故種別 区	急病		交通事故		一般負傷		その他(左記以外)		合計		
	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	出動件数 (搬送人員)	構成比 (%)	
1月	959 (838)	9.6 9.6	66 (63)	6.3 6.6	243 (217)	9.9 10.0	178 (136)	7.7 7.9	1,446 (1,254)	9.1 9.2	
2月	852 (724)	8.5 8.3	84 (77)	8.0 8.1	198 (169)	8.1 7.8	183 (145)	7.9 8.4	1,317 (1,115)	8.3 8.2	
3月	881 (769)	8.8 8.8	75 (68)	7.1 7.1	191 (168)	7.8 7.7	197 (138)	8.5 8.0	1,344 (1,143)	8.5 8.4	
4月	706 (609)	7.1 7.0	93 (84)	8.8 8.8	202 (178)	8.2 8.2	186 (132)	8.0 7.7	1,187 (1,003)	7.5 7.4	
5月	781 (705)	7.8 8.1	101 (89)	9.6 9.3	165 (154)	6.7 7.1	181 (145)	7.8 8.4	1,228 (1,093)	7.8 8.0	
6月	698 (614)	7.0 7.0	79 (67)	7.5 7.0	175 (156)	7.1 7.2	192 (146)	8.3 8.5	1,144 (983)	7.2 7.2	
7月	1,018 (889)	10.2 10.2	108 (95)	10.2 10.0	197 (175)	8.0 8.1	220 (163)	9.5 9.5	1,543 (1,322)	9.8 9.7	
8月	909 (805)	9.1 9.2	91 (84)	8.6 8.8	189 (170)	7.7 7.8	206 (143)	8.9 8.3	1,395 (1,202)	8.8 8.8	
9月	748 (644)	7.5 7.4	68 (61)	6.4 6.4	177 (154)	7.2 7.1	188 (135)	8.1 7.8	1,181 (994)	7.5 7.3	
10月	751 (654)	7.5 7.5	84 (78)	8.0 8.2	253 (224)	10.3 10.3	201 (155)	8.7 9.0	1,289 (1,111)	8.1 8.2	
11月	786 (707)	7.9 8.1	95 (83)	9.0 8.7	208 (179)	8.5 8.3	187 (140)	8.1 8.1	1,276 (1,109)	8.1 8.2	
12月	906 (793)	9.1 9.1	111 (104)	10.5 10.9	253 (224)	10.3 10.3	200 (144)	8.6 8.4	1,470 (1,265)	9.3 9.3	
計	9,995 (8,751)	100 100	1,055 (953)	100 100	2,451 (2,168)	100 100	2,319 (1,722)	100 100	15,820 (13,594)	100 100	
曜日別	月曜	1,522 (1,332)	15.2 15.2	147 (133)	13.9 14.0	366 (323)	14.9 14.9	418 (319)	18.0 18.5	2,453 (2,107)	15.5 15.5
	火曜	1,394 (1,206)	13.9 13.8	149 (129)	14.1 13.5	321 (289)	13.1 13.3	341 (279)	14.7 16.2	2,205 (1,903)	13.9 14.0
	水曜	1,283 (1,143)	12.8 13.1	145 (143)	13.7 15.0	324 (290)	13.2 13.4	322 (241)	13.9 14.0	2,074 (1,817)	13.1 13.4
	木曜	1,355 (1,171)	13.6 13.4	159 (140)	15.1 14.7	345 (306)	14.1 14.1	326 (239)	14.1 13.9	2,185 (1,856)	13.8 13.7
	金曜	1,422 (1,261)	14.2 14.4	168 (155)	15.9 16.3	347 (313)	14.2 14.4	360 (289)	15.5 16.8	2,297 (2,018)	14.5 14.8
	土曜	1,488 (1,300)	14.9 14.9	161 (143)	15.3 15.0	366 (315)	14.9 14.5	312 (205)	13.5 11.9	2,327 (1,963)	14.7 14.4
	日曜	1,531 (1,338)	15.3 15.3	126 (110)	11.9 11.5	382 (332)	15.6 15.3	240 (150)	10.3 8.7	2,279 (1,930)	14.4 14.2

(8)現場到着所要時間別出動件数

(2018年中)

事故種別	現場到着						平均所要時間(分)
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上		
急病	85	1,346	7,120	1,417	27	7.5	
交通事故	20	134	720	175	6	7.7	
一般負傷	30	329	1,721	363	8	7.5	
上記以外	96	365	1,539	304	15	7.2	
合計(件)	231	2,174	11,100	2,259	56		

現場到着所要時間 (119番通報を受けてから現場に到着するまでに要した時間)

明石市平均 7.5分 全国平均(2017年中) 8.6分

(9)病院收容所要時間別搬送人員

(2018年中)

事故種別	收容所要時間						平均所要時間(分)
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	
急病		209	2,418	5,581	524	19	37.3
交通事故		22	215	616	98	2	39.8
一般負傷		52	534	1,400	177	5	39.0
上記以外	16	181	698	716	108	3	33.0
合計(人)	16	464	3,865	8,313	907	29	

病院收容時間 (119番通報を受けてから病院に收容するまでに要した時間)

明石市平均 37.2分 全国平均(2017年中) 39.3分

(10)救急隊員が行った応急処置件数

(2018年中)

区分	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
止	血	43	42	163	21	269
固	定	14	254	108	47	423
人	工呼吸	10	1		4	15
心	マッサージ	1			2	3
心	肺蘇生	185	6	23	25	239
酸	素吸入	1,455	66	78	458	2,057
気	道確保※1	3		2	1	6
	※2	3		2		5
	※3	120	4	8	9	141
	※4	14		8	2	24
保	温	4,930	278	914	1,059	7,181
被	覆	33	244	581	60	918
在	宅療法継続※A				1	1
	※B					
	※C	2				2
ショックパンツによる血圧の保持						
除	細動	18				18
薬	剤投与	56	1	6	2	65
その他の応急処置		8,616	858	1,989	1,554	13,017
血圧測定		8,065	921	1,953	1,561	12,500
聴診器による心音・呼吸音等の聴取		3,543	354	464	438	4,799
血中酸素飽和度の測定		8,548	939	2,116	1,621	13,224
心電図		4,205	125	302	482	5,114
β刺激薬投与						
静脈路確保うちCPA前		42	4	2	4	52
うちCPA後		109	1	15	12	137
血糖測定		31				31
エピペン投与						
ブドウ糖投与		12				12
合計		40,058	4,098	8,734	7,363	60,253
応急処置対象人数		1,017	95	212	211	1,535

注1) 気道確保欄

※1は、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数

※2は、喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数

※3は、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数

※4は、救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数

注2) 在宅療法継続欄

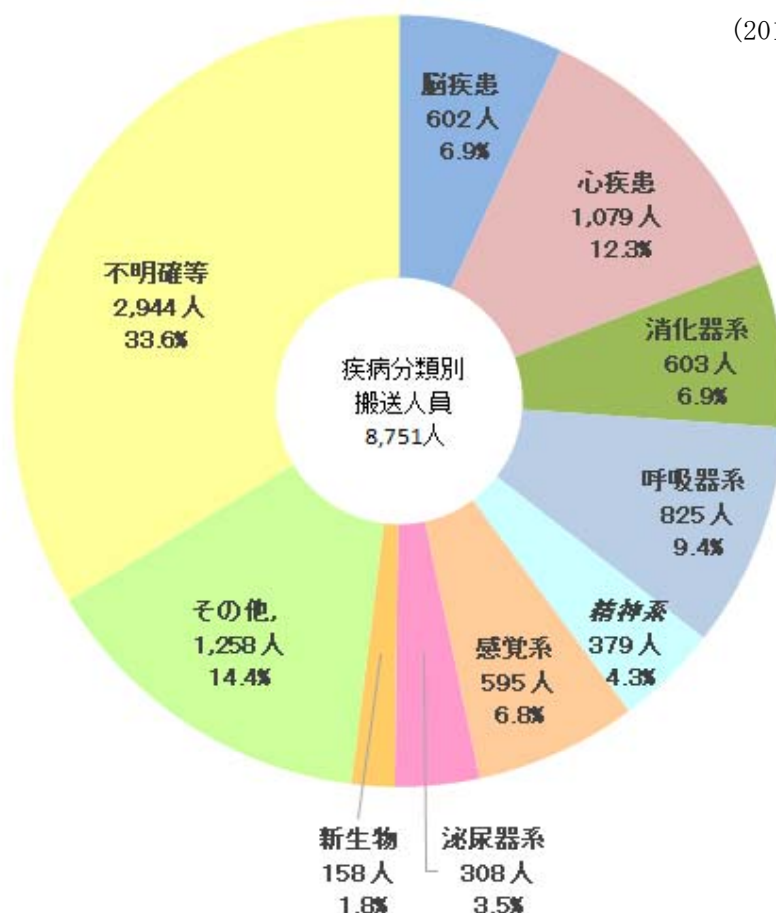
※Aは、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法により点滴は施されている傷病者に応急処置を行った件数

※Bは、気管切開孔または気管瘻・人口肛門等の外瘻が施されている傷病者に応急処置を行った件数

※Cは、※A・※B以外の在宅療法継続中の傷病者に応急処置を行った件数

(11) 急病に係る疾病分類別搬送人員

(2018 年中)



- ア 急病に係る疾病分類とは、急病に係るものについて初診時における医師の診断に基づく傷病名をWHO（世界保健機関）で定める国際疾病分類（ICD）により分類したものである。
- イ 「脳疾患」とは、「循環器系の疾患」のうち「脳梗塞」及び「その他の脳疾患」をいう。
- ウ 「心疾患」とは、「循環器系の疾患」のうち「高血圧性疾患、狭心症、心筋梗塞」等をいう。
- エ 「消化器系」とは、「消化器系の疾患」をいう。
- オ 「呼吸器系」とは、「呼吸器系の疾患」をいう。
- カ 「精神系」とは、「精神及び行動の障害」をいう。
- キ 「感覚系」とは、「神経系の疾患」、「目及び付属器の疾患」、「耳及び乳様突起の疾患」をいう。
- ク 「泌尿器系」とは、「腎尿路生殖器系の疾患」をいう。
- ケ 「新生物」とは、「がん」等をいう。
- コ 「その他」とは上記以外のものをいう。
- サ 「不明確等」とは、「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」をいう。

5 救助出動

(1)発生場所別救助件数

(2018 年中)

発生場所 事故種別	出動件数	屋 内		屋 外			地 下	そ の 他	
	活動件数	住 居	そ の 他 の 屋 内	道 路	水 面				そ の 他 の 屋 外
					内 水面	外 水面			
火 災 (建 物)	3	3							
	3	3							
	1	1							
火 災 (建 物 以 外)									
交 通 事 故	25			21			4		
	15			14			1		
	18			17			1		
水 難 事 故	10					10			
	6					6			
	4					4			
風 水 害 等 自 然 災 害									
機 械 に よ る 事 故	3		3						
	2		2						
	4		4						
建 物 等 に よ る 事 故	115	106	4				4	1	
	107	101	3				2	1	
	73	67	2				3	1	
ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	3	1		1				1	
	3	1		1				1	
	1	1							
破 裂 事 故									
そ の 他 の 事 故	196	132	22	3	3	1	30	5	
	23	4	1	3			13	2	
	24	4	1	3			14	2	
合 計	355	242	29	25	3	11	38	7	
	159	109	6	18		6	16	4	
	125	73	7	20		4	18	3	

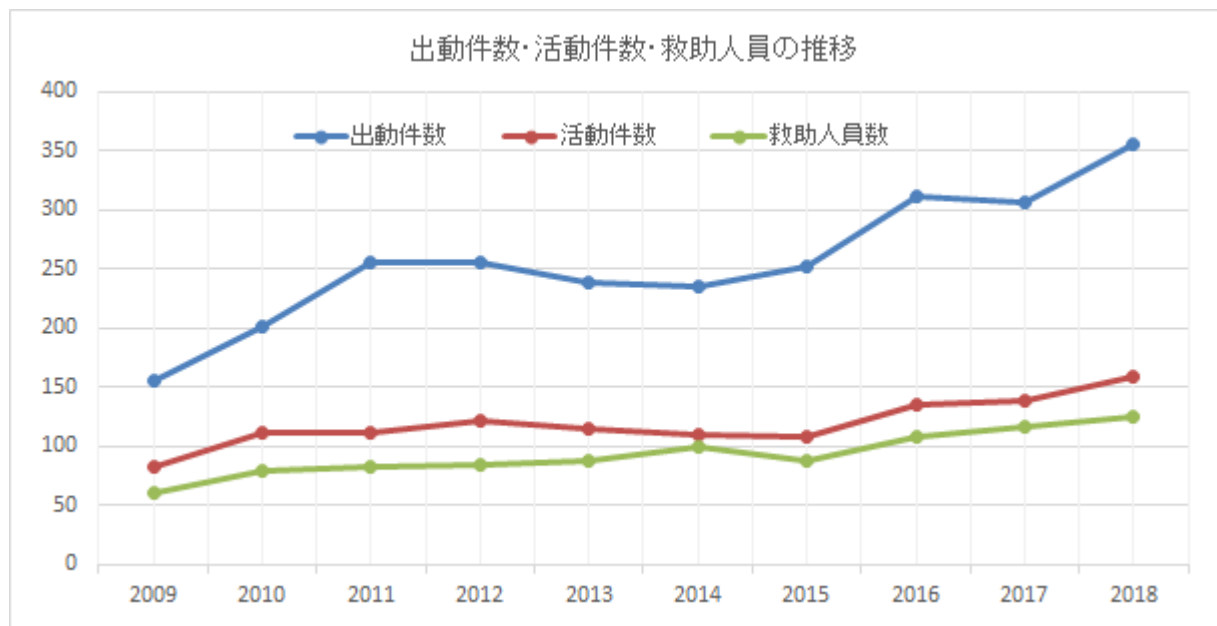
(2) 月別曜日別事故種別出動件数

(2018年中)

		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
月別	1月			1				12			15	28
	2月	1		2	2		1	11			13	30
	3月			1	1			11			17	30
	4月			1	2			1			25	29
	5月			2				8			12	22
	6月			2				7			16	25
	7月			3				12			17	32
	8月	1		3	1		2	12			18	37
	9月			3	2			5			13	23
	10月			1	1			9			22	33
	11月			2	1			14	1		15	33
	12月	1		4				13	2		13	33
	計	3		25	10		3	115	3		196	355
曜日別	月			4	1		1	23			24	53
	火			2			2	16	2		28	50
	水			3				16			29	48
	木	1			2			17			22	42
	金			7	2			19			24	52
	土	1		5	3			16	1		30	56
	日	1		4	2			8			39	54

(3)救助件数の推移

(年中)



	救助出動件数		救助活動件数		救助人員	
	件数	増減数 対前年比	件数	増減数 対前年比	件数	増減数 対前年比
2009年	155	▲ 16 (9.4)	82	▲ 25 (23.4)	60	▲ 38 (38.8)
2010年	202	47 (30.3)	112	30 (36.6)	79	19 (31.7)
2011年	256	54 (26.7)	111	▲ 1 (0.9)	82	3 (3.8)
2012年	256	0 (0.0)	121	10 (9.0)	84	2 (2.4)
2013年	239	▲ 17 (6.6)	115	▲ 6 (5.0)	87	3 (3.6)
2014年	235	▲ 4 (1.7)	110	▲ 5 (4.3)	100	13 (14.9)
2015年	253	18 (7.7)	108	▲ 2 (1.8)	87	▲ 13 (13.0)
2016年	312	59 (23.3)	135	27 (25.0)	108	21 (24.1)
2017年	307	▲ 5 (1.6)	139	4 (3.0)	116	8 (7.4)
2018年	355	48 (15.6)	159	20 (14.4)	125	9 (7.8)

6 風水害出動

風水害出動	2018年中	2017年中	対前年比	
			増減数	増減率(%)
出動件数	81	9	72	800

注)

- 2017年中は台風18号により出動したものです。
- 2018年中は台風7号、12号、20号、21号により出動したものです。

7 その他の災害出動

種別	2018年中		2017年中		対前年比	
	出動件数	構成比(%)	出動件数	構成比(%)	増減数	増減率(%)
PA救急	822	63.1	862	68.0	▲ 40	▲ 4.6
調査	217	16.7	144	11.4	73	50.7
漏洩事故	39	3.0	58	4.6	▲ 19	▲ 32.8
枯草焼却	30	2.3	34	2.7	▲ 4	▲ 11.8
虚報誤報	27	2.1	21	1.7	6	28.6
火災に至らず	14	1.1	16	1.3	▲ 2	▲ 12.5
専用道救急	10	0.8	12	0.9	▲ 2	▲ 16.7
ヘリ支援	35	2.7	41	3.2	▲ 6	▲ 14.6
応援	5	0.4	5	0.4	0	0.0
残火処理	0	0.0	1	0.1	▲ 1	▲ 100.0
動物の救出	12	0.9	13	1.0	▲ 1	▲ 7.7
その他	91	7.0	61	4.8	30	49.2
合計	1,302	100	1,268	100	34	3

注)

- PA救急とは、消防車(Pumper)と救急車(Ambulance)が同時に出動することです。そのため、消防車にはAED(自動体外式除細動器)や救命に必要な資機材を積載しています。心肺停止状態など高度な救命処置が必要な時や救急隊だけでは搬送が困難な時に出動し、救急活動の支援を行います。
- 調査とは、火災報知器等の誤作動による鳴動や原因不明の異臭等で状況の確認が必要な場合です。
- ヘリ支援とは、ドクターヘリや消防防災ヘリ等の離着陸時に地上からのヘリ誘導や、砂埃が飛散しないように地面に水を撒くなどヘリコプター要請時の活動支援を目的としています。
- 火災に至らずとは、何らかの燃えた痕跡がある場合又は瞬間的に出火したが被害が無く収まった場合です。
- 残火処理とは、鎮圧した火災の残り火を消す再燃防止活動です。
- その他とは、上記に該当が無く出動要請の通報により出動した場合です。

地域における
消防防災のリーダー

消防団

消防団とは、消防局や消防署と同様に消防組織法に基づき、それぞれの市町村に設置される消防機関です。消防団員は、他の職業等に就いている一般市民で構成しています。地域に密着し住民の安心と安全を守るという重要な役割を担っています。

1 消防団組織機構

消防団本部 (消防団長 1 人) (消防副団長 4 人)	女組 (定員 15 人)		
	第 1 分団 (定員 98 人)	大蔵班	人丸班
		太寺上ノ丸班	明石班
		王子班	船上班
	第 2 分団 (定員 129 人)	林班	林崎班
		西明石班	西鳥羽班
		藤江班	藤が丘班
	第 3 分団 (定員 223 人)	松陰新田班	松陰班
		大窪班	中ノ番班
		山ノ下班	川西班
西大窪班		西脇班	
駅前班		大久保町班	
第 4 分団 (定員 168 人)	森田班		
	谷八木班	八木班	
	西八木班	東江井班	
	西江井班	東島班	
第 5 分団 (定員 172 人)	西島班	福田班	
	金ヶ崎班	柳井班	
	長坂寺班	長池班	
	浜西班	清水班	
第 6 分団 (定員 114 人)	清水新田班	上野班	
	中尾班	浜谷班	
	西岡班	大見班	
第 7 分団 (定員 71 人)	山川班		
	上西二見班	岡ノ上班	
第 8 分団 (定員 45 人)	福里班		
	東二見班		
	西二見班		

※定員とは、条例で定められた上限人数であり、実員ではありません。

※定員には分団長、副分団長、部長、班長、団員が含まれます。

2 消防団員階級別分団人員

(2019年4月1日現在)

区分\階級	総数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
定員	1,040	1	4	8	8	8	50	961
実員	1,028	1	4	8	8	8	50	949
団本部	5	1	4					
女組	15						1	14
第1分団	98			1	1	1	6	89
第2分団	127			1	1	1	6	118
第3分団	223			1	1	1	11	209
第4分団	165			1	1	1	8	154
第5分団	171			1	1	1	8	160
第6分団	108			1	1	1	5	100
第7分団	70			1	1	1	3	64
第8分団	46			1	1	1	2	41

※女組は、女性消防団員

3 消防団員階級別年齢構成

(2019年4月1日現在)

年齢\階級	総数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
20歳未満	20	0	0	0	0	0	0	20
20～24歳	84	0	0	0	0	0	0	84
25～29歳	113	0	0	0	0	0	0	113
30～34歳	161	0	0	0	0	0	6	155
35～39歳	201	0	0	0	0	0	11	190
40～44歳	224	0	0	0	0	1	14	209
45～49歳	194	0	0	1	2	1	12	178
50～54歳	19	0	0	4	4	6	5	0
55～59歳	6	0	0	2	2	0	2	0
60歳以上	6	1	4	1	0	0	0	0

消防団員平均年齢は37.1歳です。

4 消防団員の表彰等受章状況

(2018年度)

区分	階級	総数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	
褒章										
消防庁長官	功 労 章									
	永年勤続功労章	1			1					
兵庫県知事	功 労 章	1			1					
	永年勤続功労章	6				1	1	4		
	家 族 の 賞									
	親子二代の賞									
	永年勤続50年									
日本消防協会長	功 績 章	1			1					
	精 績 章	2					2			
	勤 続 章	3				1			2	
兵庫県消防協会長	功 績 章	1			1					
	精 績 章	5						5		
	勤 続 章	17			1		1	2	13	
	精 勤 章	10						10		
	家族の賞	30年	1				1			
		40年								
50年										
市 長	市政功労表彰	2			1	1				
	優良団員表彰	33						5	28	
	家 族 の 賞	13						3	10	
団 長	優良団員表彰	34						2	32	
消 防 長	優良団員表彰	33							33	

5 消防団機械器具配備状況

(2019年4月1日現在)

分団	区	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付 積載車	小型動力ポンプ	総数
第 1 分 団		1	4		5
第 2 分 団			6		6
第 3 分 団			10	1	11
第 4 分 団			8		8
第 5 分 団			8		8
第 6 分 団			5		5
第 7 分 団			3		3
第 8 分 団			2		2
合 計		1	46	1	48

付録

明石消防の沿革

当市は、古くから城下町として発展した関係上、明治維新前には各町に町火消が組織され、全町で10数台の龍吐水を設置し、郡代役所で統括していた。明治27年2月に消防組規則が制定され、東西2部の明石市消防組が設けられる。

その後、昭和5年に常備消防隊が設置され、その規模は消防ポンプ自動車1台、人員4名であったが、昭和9年には、消防ポンプ自動車2台、人員8名に増強される。

- 昭和14年 4月 1日 消防組を改称し、明石市警防団として発足。(4分団、団員550名)
- 昭和17年 2月 11日 林崎村合併により、明石市警防団は7分団、団員850名となる。
- 昭和19年 12月 22日 明石警察署内に板宿消防署の分遣隊を置く。
(消防ポンプ自動車4台、人員22名)
- 昭和20年 2月 1日 消防力の整備充実を図るため神戸葺合消防署が移駐され、大明石町2丁目天理教内に官設消防署を開設し、東播消防大隊と改称、その規模は、消防ポンプ自動車14台、人員232名をもって、加古川、高砂、三木各町及び垂水分駐所を設け、東播地区の火災防ぎょ警戒にあたる。
- 昭和21年 2月 20日 明石国民学校(現明石小学校)の一部を仮庁舎として、消防署を移転する。
- 昭和21年 2月 20日 明石消防署と改称。
- 昭和21年 11月 28日 山陽電鉄事務所(旧東仲ノ町山電下り駅)を仮庁舎として明石消防署を移転する。
- 昭和22年 2月 明石消防署の管轄区域は、明石市及び加古川市、高砂各町となり、加古川町寺家町64、高砂町消防会館にそれぞれ出張所を設置する。
- 昭和22年 4月 加古川消防署発足に伴い、管轄の加古川、高砂両町は加古川消防署へ移管し、神戸市垂水区を加え、垂水出張所を開設する。
- 昭和22年 8月 31日 内務省令により、従前の警防団は廃止、明石消防団として発足する。
- 昭和23年 3月 7日 消防組織法の公布施行により、明石市消防本部及び消防署の設置条例並びに明石市消防本部、消防署の位置名称及び管轄区域に関する条例を公布施行し、明石市消防本部、明石市消

- 防署として発足する。
垂水出張所は神戸市へ移管となる。(1本部1署)
- 昭和23年 6月15日 明石市大明石町1丁目1450番地の7に新庁舎が竣工し、本部及び消防署を移転する。
- 昭和24年 9月 1日 西部方面の火災防ぎよのため、明石市藤江889番地に消防分署を設置、明石市消防署西分署として業務を開始する。(1本部1署1分署)
- 昭和26年 1月10日 明石郡大久保村、同魚住村、加古郡二見町の三ヶ町村との合併により消防団は4団になる。
- 昭和26年 1月10日 消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を70名に改める。
- 昭和28年10月31日 明石市消防団条例を改正。消防団を統合し、連合消防団制とする。
(4団、42分団、1,916人、ポンプ自動車3台、手引動力ポンプ30台)
- 昭和31年10月 1日 消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を82名に改める。
- 昭和32年 3月11日 明石市二見町東二見450番地、明石警察署二見巡查部長派出所内に消防分署を設置、明石市消防署二見分署として業務を開始する。
(1本部1署2分署)
- 昭和38年 8月 1日 消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を96名に改める。
- 昭和39年 2月24日 明石市大久保町江井島794番地の8に消防分署を設置、明石市消防署江井島分署として業務を開始する。(1本部1署3分署)
- 昭和39年10月14日 消防法の一部改正により救急業務実施政令都市となり救急自動車を配置、救急業務を開始する。
- 昭和40年 4月 1日 連合消防団制を廃止し、1市1団制の組織改革を行う。(1団8分団、49班、人員1,200名、ポンプ自動車6台、小型動力ポンプ23台、手引動力ポンプ13台)
- 昭和43年 4月 1日 消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を103名に改める。
- 昭和43年 4月12日 明石市二見町西二見767番地の3に二見分署庁舎が竣工し、二見分署を移転する。

昭和44年	4月	1日	消防本部、消防署の組織機構を改正する。 消防本部（3課6係） 消防署（2係3分署） 消防吏員 117名
昭和44年	4月	15日	明石市魚住町西岡500番地に消防分署を設置、明石市消防署魚住分署として業務を開始する。（1本部1署4分署）
昭和45年	1月	13日	消防対象物の高層化に対処するため、屈折はしご付消防ポンプ自動車（15m級）を本署に配置する。
昭和45年	4月	1日	消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を131名に改める。
昭和45年	7月	23日	都市化の発展に伴う本市の消防体制の充実を図るため、明石市消防審議会を開催する。
昭和46年	4月	1日	消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を148名に改める。
昭和46年	6月	1日	明石市朝霧町3丁目10番1号に消防分署を設置、明石市消防署朝霧分署として業務を開始する。（1本部1署5分署）
昭和46年	6月	18日	重化学消防ポンプ自動車を消防署に配置する。
昭和47年	4月	1日	消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を166名に改める。
昭和47年	7月	19日	明石市中崎1丁目6番20号に消防庁舎が竣工し、消防本部、消防署を移転する。
昭和47年	12月	1日	二見分署に救急自動車を配置する。（2隊制）
昭和48年	4月	1日	消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を179名に改める。
昭和48年	11月	30日	救急自動車を二見分署より魚住分署に配置換する。
昭和49年	2月	8日	消防対象物の高層化に対処するため、はしご付消防ポンプ自動車（38m級）を消防署に配置する。
昭和49年	3月	25日	救助工作車を消防署に配置する。
昭和50年	7月	10日	消防本部の組織機構を改正し、警防課に通信係を新設する。
昭和51年	8月	18日	明石市藤江890番地の3に西分署庁舎が竣工し、西分署を移転する。
昭和51年	9月	1日	西分署に救急自動車を配置する。（3隊制）
昭和53年	4月	1日	消防署の組織機構を改正し、予防係を新設する。
昭和55年	7月	25日	都市化の発展に伴う本市の消防体制の充実を図るため、明石市消防審議会を開催する。
昭和56年	3月	31日	魚住分署を増改築する。

昭和57年	2月16日	西分署の名称を西明石分署に改める。
昭和57年	2月17日	明石市大久保町西脇364番地の12に消防分署を設置、明石市消防署大久保分署として業務を開始する。(1本部1署6分署)
昭和57年12月	21日	昭和43年建築の二見分署庁舎を取り壊し、同地に庁舎を新築する。
昭和60年	2月16日	屈折はしご付消防ポンプ自動車(15m級)を消防署に更新配置する。
昭和60年	3月30日	昭和39年建築の江井島分署庁舎を取り壊し、同地に庁舎を新築する。
昭和61年	3月1日	多種多様化する災害に対応し、円滑な指令伝達、情報収集を行うため、通信指令室の増改築を実施し、指令装置等の更新を行うとともに、地図検索装置を導入、各署所を結ぶファクシミリ装置の設置などのシステム化を図る。また、風水害による被害をいち早く予測し、その被害を軽減するために、気象観測装置及び河川、流域総合情報システムを導入する。
昭和61年12月	1日	電源照明付救助工作車を消防署に更新配置する。
昭和62年	3月24日	西明石分署を増改築する。(平屋建から2階建となる。)
昭和62年	8月28日	(財)日本消防協会より、電源照明付資器材等搬送車の寄贈を受ける。
昭和62年	9月3日	日本損害保険協会より、普通消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
昭和63年	3月1日	ハニー化成機より、化学消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
平成2年11月	20日	救急出動の増加に伴い、救急自動車の規格の向上を図る。
平成3年	2月21日	西明石ロータリークラブより、聴覚言語障害者の非常時における119番通報に対処するため、専用ファクシミリ装置の寄贈を受ける。
平成3年	4月1日	消防組織の強化、充実を図るため職員定数を200名に改める。
平成3年11月	1日	救急業務の増加に伴い、大久保分署に救急隊を配置する。(4隊制)
平成4年	2月12日	都市化の発展に伴う本市の消防体制の充実を図るため、明石市消防審議会を開催する。
平成4年度中		2名の救急救命士を養成する。
平成5年	3月11日	応急処置の範囲の拡大に伴い、救急業務の高度化を図るため、準高規格救急自動車を消防署に配置する。
平成5年度中		2名の救急救命士を養成する。

平成	5年	4月	1日	消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を215名に改める。
平成	5年	4月	1日	衛星通信を活用した「兵庫県衛星通信ネットワーク」の運用を開始する。
平成	5年	10月	27日	高規格救急自動車を消防署に配置する。
平成	6年	1月	10日	救急救命士業務の試験運用を開始する。
平成	6年	3月	25日	西明石分署に救急消毒室を設置する。
平成	6年度中			3名の救急救命士を養成する。
平成	6年	4月	1日	救急救命士業務の本格運用を開始する。
平成	6年	4月	1日	消防本部、消防署の組織機構を改正し、消防本部警防課に救急救助係を新設、技術係を装備係に改める。消防署に管理係を新設する。
平成	6年	11月	1日	高規格救急自動車を西明石分署に配置する。
平成	7年	1月	17日	午前5時46分 兵庫県南部地震発生 (M7.3) 死者 11人、火災 6件
平成	7年	2月	10日	40m級はしご付消防自動車を消防署に更新配置する。
平成	7年度中			3名の救急救命士を養成する。
平成	7年	12月	8日	明石市セントラルライオンズクラブより、消防の行う応急手当普及啓発活動推進のため、応急手当普及広報車の寄贈を受ける。
平成	7年	12月	15日	救助工作車を大久保分署に配置する。
平成	8年	2月	29日	指揮先行車を消防署に配置する。
平成	8年	3月	8日	魚住分署に救急消毒室を設置する。
平成	8年	3月	22日	小型動力ポンプ付水槽車を消防署に配置する。
平成	8年度中			3名の救急救命士を養成する。
平成	8年	12月	1日	高規格救急自動車を魚住分署に配置する。
平成	9年度中			3名の救急救命士を養成する。
平成	9年	4月	1日	高規格救急自動車を大久保分署に配置する。
平成	9年	4月	1日	消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を225名に改める。
平成	10年	1月	11日	自治体消防50周年記念・平成10年明石市消防出初式挙
平成	10年	1月	11日	自治体消防50周年記念誌「明石市消防50年のあゆみ」発刊
平成	10年	3月	31日	朝霧分署を増改築し、救急消毒室の設置、仮眠室を個室にする。
平成	10年度中			4名の救急救命士を養成する。
平成	10年	4月	1日	高規格救急自動車を朝霧分署に配置する。(5隊制)
平成	10年	4月	1日	自動車電話・携帯電話からの119番通報受信を開始する。

- 平成10年12月20日 新消防庁舎基本計画書を策定する。
- 平成11年 3月25日 新消防庁舎用地の造成工事が完了する。
- 平成11年 3月31日 救助工作車Ⅲ型を消防署に更新配置する。
- 平成11年度中 4名の救急救命士を養成する。
- 平成11年 4月20日 通信指令装置のオーバーホールを実施する。
- 平成11年 7月 1日 コンピューター西暦2000年問題対策本部を設置する。
- 平成12年 3月17日 災害対応特殊救急車を消防署に更新配置する。
- 平成12年度中 4名の救急救命士を養成する。
- 平成12年 9月28日 水槽付消防ポンプ自動車を消防署に更新配備する。
- 〃 応急救護所用エアートント（TAT-600型）1張りを配備する。
- 〃 インパルス消火システム2基を配備する。
- 平成12年12月 7日 日本損害保険協会より、水槽付消防ポンプ自動車の寄贈を受ける。
- 平成13年 3月22日 緊急時における多目的活動の装備充実のため、川崎重工業（株）より寄贈を受けた消防用オートバイ2台を消防署に配備する。
- 平成13年 3月30日 災害対応特殊救急車を西明石分署に更新配置する。
- 平成13年度中 3名の救急救命士を養成する。
- 平成13年 7月21日 第32回明石市民夏まつり花火大会事故発生
- 平成13年10月15日 屈折はしご付消防自動車（15m級）を廃車し、はしご付消防自動車（30m級）を消防署に配置する。
- 平成14年 2月12日 化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を二見分署に更新配置する。
- 平成14年度中 3名の救急救命士を養成する。
- 平成15年 2月28日 明石市藤江924番地の8に、明石市防災センターを併設した、新消防庁舎が竣工する。
- 平成15年 3月 1日 西明石分署（藤江890番地の3）を廃止し、業務を新消防庁舎へ仮移転する。
- 平成15年 3月 7日 消防緊急情報システムの完成に伴い、消防本部の情報指令室が新消防庁舎にて業務を開始する。
- 平成15年度中 4名の救急救命士を養成する。
- 平成15年 4月14日 新消防庁舎に、消防本部、消防署を移転し、業務を開始すると共に、明石市防災センターを開館する。
- 旧消防本部、消防署庁舎（中崎1丁目6番20号）は、中崎分署として業務を継続する。
- 平成16年度中 3名の救急救命士を養成する。

平成16年	4月	1日	消防組織の強化、充実を図るため、職員定数を233名に改める。
平成16年	12月	21日	災害対応特殊救急車を魚住分署に更新配置する。
平成17年	2月	8日	二見分署を増改築し、救急消毒室の設置、仮眠室を個室にする。
平成17年	3月	11日	災害対応特殊救急車を二見分署に配置する。(6隊制)
平成17年度中			2名の救急救命士を養成する。
平成17年	8月	27日	災害対応特殊消防ポンプ自動車を中崎分署に更新配置する。
平成18年	2月	26日	指揮先行車を消防署(本署)に更新配置する。
平成18年度中			2名の救急救命士を養成する。
平成18年	7月	5日	無線指令車を警防指揮車として更新配備する。
平成19年	12月	11日	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車を大久保分署に更新配置する。
平成19年度中			2名の救急救命士を養成する。
平成20年度中			2名の救急救命士を養成する。
平成21年	3月	2日	災害対応特殊消防ポンプ自動車(CAFS対応)を朝霧分署及び江井島分署に更新配置する。
平成21年	3月	19日	災害対応特殊救急車を消防署(本署)に更新配置する。
平成21年	3月	23日	中崎分署を改修し、救急消毒室の設置、仮眠室を個室にする。
平成21年度中			2名の救急救命士を養成する。
平成22年	2月	1日	水槽付消防ポンプ自動車を消防署(本署)に更新配置する。
平成22年	2月	19日	災害対応特殊救急自動車を中崎分署に更新配置する。
平成22年度中			2名の救急救命士を養成する。
平成23年	1月		大久保分署を増改築し、救急消毒室の設置、仮眠室を個室にする。
			II型化学消防ポンプ自動車を消防署(本署)に更新配置する。
平成23年	2月		災害支援車I型を消防署(本署)に配置する。
平成23年	3月		東日本大震災に緊急消防援助隊(兵庫県隊)を派遣する。
			江井島分署を増改築し、救急消毒室の設置、仮眠室を個室にする。
平成23年	3月		災害対応特殊救急車を配置する。(7隊制)
平成23年度中			2名の救急救命士を養成する。
平成24年	3月		多目的災害対応コンテナ車を消防署に配置する。
平成24年度中			2名の救急救命士を養成する。
平成24年	12月		小型水槽付消防ポンプ自動車(CAFS対応)を魚住分署に更新配置する。
平成24年	12月		災害対応特殊救急自動車を魚住分署に更新配置する。

平成25年度中	2名の救急救命士を養成する。
平成25年 4月	消防署の特別救助隊を高度救助隊として発隊する。
平成25年11月	高規格救急自動車を大久保分署に更新配置する。
平成25年11月	災害対応特殊救急自動車を二見分署に更新配置する。
平成26年度中	2名の救急救命士を養成する。
平成26年 4月	高機能消防指令センターの運用を開始する。(指令システム更新)
平成26年 4月	消防救急デジタル無線システムの運用を開始する。
平成26年 9月	介護予防教育を試行的に実施する。
平成26年12月	はしご付消防自動車(40m級)を消防署に配置する。
平成27年度中	1名の指導救命士を養成する。
平成27年度中	2名の救急救命士を養成する。
平成27年 4月	介護予防教育を全国に先駆けて実施する。
平成27年11月	高規格救急自動車を朝霧分署に更新配置する。
平成28年度中	2名の救急救命士を養成する。
平成28年 4月	熊本地震に緊急消防援助隊(兵庫県隊)を派遣する。
平成28年11月	災害対応特殊救急自動車を消防署(本署)に更新配置する。
平成28年11月	水槽付消防ポンプ自動車(CAFS対応)を大久保分署に更新配置する。
平成29年度中	1名の指導救命士を養成する。
平成29年度中	2名の救急救命士を養成する。
平成29年10月	災害対応特殊救急自動車を中崎分署に更新配置する。
平成29年11月	災害対応特殊消防ポンプ自動車(CAFS対応)を朝霧分署に更新配置する。
平成30年度中	1名の指導救命士を養成する。
平成30年度中	2名の救急救命士を養成する。
平成30年 4月	明石市の中核市移行に伴い、組織名称を明石市消防局とする。
平成30年 7月	平成30年西日本豪雨災害により、広島県に緊急消防援助隊(兵庫県隊)を派遣する。
平成30年10月	高規格救急車を江井島分署に更新配置する。
平成31年 3月	救助工作車Ⅲ型を消防署に更新配置する。

